愛國婦人

定價一部金參錢五厘　一ヶ月金七錢中　年分四拾貳錢全國　無遞送料
廣告料一行六拾錢
本號全部禁轉載
每月二回　五日廿日發行
發行所　東京麹町區（牛ヶ淵公園）愛國婦人會發行所
編輯兼發行人　山澤俊夫
印刷人　永持德一

社說

愛國婦人會總會

愛國婦人會第七回總會は、本月廿三日を以て、青山練兵場に開かれんとす。當日は畏れ多くも　皇后陛下には行啓あらせられ、親しく本會の成績に就て、聞召さるゝと云ふ、誠に同會の光榮、會員の名譽此上やあるべき。然れども名譽の存する所は、また責任の存する所、會及び會員たるものは、各益々奮勵同會の事業に盡瘁し、以てその思召の萬一に答へまつらんことを期せざるべけんや。

愛國婦人會が二十七八年及び三十七八年戰役中及びその後に於て、軍人、軍人の遺族及び癈兵の爲に盡したるの功勞は、陸海軍人並に社會一般の十分認識し、感謝する所にして、會及び會員は、能くその本領を發揮し、又これに對する報酬をば、精神的に得たるものといふべし。要するに愛國婦人會は、過去に於ては、立派に活動せる會なりといふも、何人も異存なかるべし。然れどもそは過去の事なり。會は唯過去の手柄を語りて滿足すべき性質のものにあらず。會の事業は將來に於て益々發展せざるべからず。戰爭中及びその後暫くは、軍人の遺族及び癈兵に對して、世人は深厚の同情を表し、又扶助慰安をもなしたれ、その當時を遠かる數年の今日に於ては、軍人の遺族及び癈兵に對する記憶は、世人の腦裏より、漸く消失し去らんとす。然れども戰死戰傷より受けたる遺族及び癈兵の悲嘆困苦はその當時の痛みを減ぜざるのみならず、平和の今日は、沈靜孤獨の中に、餘念なくこれを味ふこととなれば、その苦痛は一層大ならざるを得ず。その時に當りて、本會總會の催さるゝは、天下の人に同情すべき軍人の遺族及び癈兵あることの記憶を新にし、その扶助慰安の實を擧ぐるの、大なる力となるや疑ひなし。願くば會及び會員はその目的のために、十分總會の機會を利用せられんことを。

思ふに軍人の遺族及び癈兵が、現今は勿論、將來に於ても永くその存在するとを忘れずし、厚き同情を有し居れる七十二萬の婦人あることに想到するときは、彼等は言ふべからざるの強みと慰安とを得べきや、必せり。然れども文句は、滿腹を與へず、遺族、癈兵の最も缺乏を感ずるものは、心の糧にあらずして、胃の腑の糧なり。是に於て本會の要するものは、これを供給するの資力なり。さればこれまた今回の總會を機として、大に會員の增加を計り、資力の充實を期せざるべからず。全國より總會に列せらるべき會員諸氏は、十分此意を領して、益々此事に盡力せらるゝなるべく、又その然かあるべきことを望むものなり。恐れ多くも　總裁宮殿下が、御常務に又地方への御出向に何時も渝らせられず、本會事業の爲に御熱心に御盡力あらせらるゝは、誠に難有き極みにして、會の役員及び會員一般が畏けれども、これを模範となし參らせて、熱心事に從ふに於ては何んぞ本會の目的が、遺憾なく達し得られざるを憂へんや。吾等は從來に於ける諸氏の功勞を十分認め、感謝すると共に、將來に於て一層の盡力を願ふものなり。

尙遺族及び癈兵の扶助、救護の方法に就ては、十分研究せざるべからざるものあり。その物品又は金員を贈るが如きは、甚だ結構なることなれども、そは一時の事にして、且多人數の事故、その量額も勢ひ少なければ、永くその惠に依ること能はず。依て思ふにその扶助救護の最良の方法は、これが授產の道を講ずるにあり。換言すれば、正當なる儲け口と、儲け方を知らしめ、且その材料を供給し、その製作品販賣の世話等を爲すにあり。仕事は、無職怠惰より來るの害を防ぎ、悲みを忘れしめ、妄想を退け、生活に希望と勇みをつけ、心身を健康ならしめ、且これらの何よりも急務なる自活の道を與ふるものなり。

されば授產の道を講ずることは、今後本會に於て務むべき主要の仕事たるを疑はず。而してその方法は、當人の心身の狀態、土地の狀況等に由りて、適切にして、最も効力大なるものを撰むべく、その講究は本會本部及び各支部の任ずべきものなりとす。その他家庭、道德、風俗、交際の改良發達、婦人の敎育及びその位置の向上等、本會が本務以外、間接に盡すべき仕事は、甚だ多く、これらの方面に於ても會はその大なる勢力を以て、その原動力となり、指導者となるの自任なかるべからず、すべて團體は、その大となり、有力となるに從つて、その仕事は多くなるものなり。こは大なる團體の特權ともいふべきものにして、希望も多く、責任も大となる所以なり。愛國婦人會が、今後如何なる事を行ひ、如何なるものになるかは、獨り會の問題にあらず、日本全國の問題なり、國家問題なり。我等は、本會及び會員が、此度の總會に於て、前途の事業に就て、十分謀られんことを望むものなり。

讀者諸姉の好評を博しました懸賞『梅か櫻か』は、去三月廿日の號上に發表してから、締切當日までに解答された數が、實に貳萬有餘通も御座いましたので、本社では係員一同殆んど命懸けで調べました。

扨て天使の如き十人の小供は、眞實孰れが女で孰れが男で御座いませう。お待ち兼ねの『梅か櫻か』は實に次の通りで御座います。

一──男　二──女　三──女
四──男　五──男　六──男
七──男　八──女　九──女
十──女

さあ誰方がお當りでせう。貳萬有餘の解答者中當つた方がどれだけあつたでせう。係記者は解答者の凡てがお當りになるやうにと祈り乍ら、調べ上つたのを見ると、意外にも當つた方は一人も御座いません。それで係記者は種々協議の末、最も近いものに條件をつけて當選とすることに致しました。

誰れかも申した通り、柳は綠、花は紅と、神代の始めから定つて居るのですから、男か女か當らない筈は無いのですが、どうして其樣に當らぬのだらうと、よく調べて見ると、何れも第七の男を女と見誤まられたのが多いので御座いました。第七の男の兒はわが愛國婦人編輯局の一員の愛兒で、正しく男なので御座いますから、何うも致しかたがありません。そこで尤も正鵠に近い解答者即ち次の三十二名の中、抽籤を以て十名の方に女德論叢を進呈する、その抽籤は女德論叢刊の後、公平なる方法を以て定めると云ふに致しました

其方々の芳名は

長野縣南安曇郡明盛村六〇三	植原千代子
東京市小石川上富坂廿六	吉野てつ子
千葉縣香取郡飯高村	那須わか子
兵庫縣神戸市元町	原田まさ子
東京市日本橋濱町二丁目十一	松橋りう子
三重縣北牟婁郡長島町	西山ひさゑ
東京市神田區仲町一ノ三	坂上てい子
東京市麹町區有樂町一ノ三	土井すゑ子
伯耆國東伯郡赤崎町二ノ二九	佐伯まさ子
秋田縣山本郡鶴川村	三浦婉子
神奈川縣橫濱市西戸部六八〇	加藤李花子
京都市寺町通四條南下入	雅屋商店內
愛知縣愛知郡千種川	橫田りう子
岐阜縣土岐郡役所內	山路梅太郎
富山縣上新川郡掘川村小泉村	林松之助
大阪府大阪市	佐野眞子
愛知縣豐橋市傳馬町四三	中村つな子
福岡市荒戸町百六十二	高田しづ子
山梨縣甲斐	うもれ木女
東京市日本橋瀨戸物町一	高橋げん子
東京市本郷區元町二丁目	相川つる子
東京市京橋東港町廿七	中西つれ子
北海道函館蓬萊町十四	山田きよ子
青森縣弘前市元長町一	笹田正野子
新潟縣高田町五分一三	加藤てる子
熊本縣天草郡手深町	山內久米子
備中國倉敷町	鵜飼小鶴子
青森縣青森市博勞町	長谷川きぬ
岡山縣岡山市山崎町澤野內	木村たま子
北海道函館區役所內	土岐昇
三重縣津市綿內町一番屋敷	三井きみ子
遠江國濱松町	萩原さだ子

然し此他にも誤つて、本誌の發賣所たる隆文館、又は印刷所たる秀英舍に宛てゝ送られた解答者の中に、正解者又は正鵠に近き解答者もある事と存じますから、若し然う云ふ方があるなら、何月の何日頃に何處に宛てゝ出したと云ふ事を御報らせ下さい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論叢

男女交際の心得（下）

——婦人講演會にて——

法學博士 農學博士 新渡戸稲造

△道德上の關係

さて女子は男子の力によつて、世渡りをせんければならぬと同時に男子は女子から敎を受けなければならぬのである。婦人の敎を受けることを知らん男子は、信實の男子ではない、決して圓滿なる發達の出來るものではないと思ふ。眞の武士とは情を知つて居るもので、矢鱈滅法に威張つたり怒つたりする計りが武士ではありますまい、勇敢なる武士は女性的のものである。

それて、その女子が特有の、愉快、面白い、樂しいといふ點を學んだら宜いと思ふ。男子のは外に出て終始の奮闘的生涯てある。每日公務に從事して煩雜なる刺激に身心を勞して歸つて來る。その時に家に居る妻君に始終泣面をして居られたら、實に堪つたものぢやありません。婦人が男子に敎へることは決して、こんな澁面でもなく、泣面でもない。愉快とか樂しいとか云ふことを敎へるので、相互に愉快なる觀念を以つて、世を送るといふことに努めなければならぬ。之は口て云ふ計りぢや効がないので、是非共實行して貰ふことを注文するのです。て、之を實行するには什麽したら宜いかと云いますと、先づ婦人は始終チヤフル愉快な心を以て、交際をするのです。と云ふた處て、何も歌を唄つたり、バイオリンを聽かせる計りが愉快であるのてはなく、この人世を我と我が心に愉快に見、感ぜしめるやうにするのてある。近頃は御婦人方に厭世商買といふものがあるさうて——之は營業税がなくつて誠に爲易商買て、又その御贔負にあづかる御客樣は、詩人とか書生さんて、夏の終り秋の頃——桐の一葉を先きだて丶、と云ふ時分が一番繁昌するさうてす。人世に斯う云ふことが繁昌されては餘り目出度いことてはないので、又人世は決してそんなものてはない。什麽か愉快確實な精神を與へて貰ひたい。ウーランドと云ふ人は、

△婦人は日光に榮え

當代百畫選（八）

跡見花蹊女史筆

△初夏

男子は嵐や雨に力を養ふ——と云ふてとを云つて居る。その日光を男子に移すやうに、暖い光に浴させるやうにして貰いたい。——人世に働いて居ると云ふことは樂しいものであると云ふ觀念を男子に與へるのが、婦人に對する——私計りぢやない、一般男子の希望てありませう。これに類したことて今度は

△忍耐

と云ふことてあります。——が男子は勇氣がある。どん／＼走りに進むことは誠にお得意てあるが、さて退いて——我慢をすると云ふ段になると、婦人に一歩も二歩も讓る。早く進む替りに早く落膽をする降參をするのて。婦人は斯うなると——什麽してなか／＼強いもので、惡く言へば太いが、善く云ふと所謂忍耐力が強い。この點に於て大に注意を要するのてある。本邦て東京あたりに出て來る學生て十人の中七人はその母親の惠て學問をして居るので——父親が短氣に——もう學問なぞは爲んでも宜い。——家に居て小僧替りに働けと云ふのを——お母さんがイヤ／＼今の世の中に學問は何處までも致なくちやならない、と言つて自分で夜業をし賃仕事をして、息子や娘に學問をさせると云ふ風て、私なぞが接した學生は大概母親の惠て學問をして居るものが多い。て、婦人の物事に堪へると云ふことがなかつたならば、日本の敎育は決して今日のやうに進歩しては居らなかつたてあらうと思ふ。——名こそないが、日本の敎育は實に母と云ふ女子の賜てある。この精神を男子に突込んてほしいのてある。——眞實の勇氣は名を擧げるのてなく日常の失望を人に見せないと云ふことてある。これは男子よりも女子が上手て——今までメソ／＼泣いて居ても人が來たなぞといふと、佛頂面をして居ても直ぐ菩薩の化身てもあるかと云ふやうにニコニコして何處て誰が泣て居たか怒つて居たかと云ふやうな樣子が誠にお上手て居らしやる。

△次は同情

之は云ふまでもなく男子より婦人が強い。個人性が發達して居らないからかも知れないが——併宜い方から云ふと之が同情になるのてある。世の中にはこの同情——他人から同情をされると云ふことがない計りに厭世に陷る人が澤山ある。一言の同情ある言葉のために復活する人は幾何もあるので、併厭世の方に同情されたり——ほんとに人世は果敢ないものね——死んだ方が餘程幸福よ——など丶同情されたら夫こそ大變な騷ぎだが、成るべく、イヤ絕對的に活きる方に同情をして貰い度い、この同情を發達させて行くのに關係のあるのは成熟の長短てある。動物が其親子の關係が久けれは久い程、即ち親の手にかけて育てる時期の長い程、可愛がる情——同情心が發達して來るので蟲類より動物が——動物より人間が、と、云ふ具合に、その成熟の短い長いに依つて大いに同情心の多少に關係するので——同情、愛情といふ觀念を起すためにも人間は成熟することが遲いのてある。道德的發展を完ふするためてある。それて母親即ち女子が男子より同情が強いのも解つた話てありませう。て、其同情、愛情を以て殺風景な男子に當つては しいので。愉快なる觀念、忍耐、第三に同情と云ふことを言つたがさて之を男子に授けてやるのに、何時にしたら宜からうなぞと、時機を見る必要はない。特に其手段方法を講ずる譯のものぢやないので以心傳心て、內心に溢る丶同情、地盤の固い忍耐と、愉快に充ちた心を以て男子に接するのてある。御話の十中の九までは人の惡口てある。婦人が寄れば必と他人の陰口て持ち切りて、自分の夫の好かない人の惡口をどん／＼言つて、夫に同情を表するなぞ——と云ふのも同情かも知れないが、こんなことは誠につまらんことて、相手に愉快なる觀念を與へる處ぢやない益々不愉快な氣持をさせる。それて何も特に看板を揭げて、私は貴君に同情してよ——なぞと公然云ふ必要はない、故意に移さうと云ふのてなく、自然に內部から同情が溢れ、それが相手を感ぜしめると云ふやうなものてある。要するに今まて御話したことを男子に與へて行つたならば非常に男子の爲めに幸福なことてありまして、自分て心竊に之を養つて婦人としての本分を全うしなければならぬ、詮じつめて見れば男女交際と云つたからとて別段特種の心得がある譯のものてはなく、自分て

△自己の靈

に向つて交際をする。——獨り神と交通する。無限に靈即ち神と交際をして行くのてあると云ふ心を持つて行くことて。ゆくりなく木の下影を通ふつて床かしい香の爲にしらず／＼仰いて見る。——梅の花が清氣を持つて咲いて居る。あゝもう世間は長閑な春か——と言つたやうな具合に、不問語の中に愉快な復活の念を與へることが肝要なことてあります。（をはり）

ふちのはな

戀しけはかたみにせむとわが宿に
うゑし藤なみ今さかりなり
——萬葉集——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

スミレ香水
平尾分店 東京

不自然の家庭

「合せ者は離れもの」だとも云ひ、「女房と疊とは新しいのに限る」なぞとも申し、隨分奇々怪々な傳説が往古から御坐いまするし、さうかと申すと「子なければ去る……」なぞと云ふ所謂七去と云ふ、二十世紀の進歩した今日の時世から見ますると殆んど噴飯だにも値せぬ「女大學」流の夫婦間の教訓と云ふものが唯今の世の中にも、保守的な人々の頭腦を支配して居り、幾分の命脈を保つて居るので御坐いまする。

野の百合花を観よ

とも、「ソロモンの榮華の時だも、此の花一輪に若かざりき」とも聖典に記されてあるのは、何人も先刻御承知のことゝ思ひます。何故なれば、彼れほどに榮え時めきしソロモンの榮華が、野の百合の花の榮えにも若かなかつたのでありましやうか。

野の百合の花の榮えは、即ちこれ自然の榮えて御坐います。ソロモンの榮華は不自然の榮えて御坐います。自然と不自然！此處に生活の矛盾も衝突もあります。不平もあれば、厭世もあります。此の頃の新聞に能く載つて居りまする華嚴の瀧の投身者のうちにも、淺間山、さては阿蘇山の夕べ晨の煙となる人々の心のうちにも、——若し此の人々の心裡をX光線で照して見たならば、此の矛盾、不平の傾が認められるので御坐いましやう。

我が舊き歴史

に南北朝の爭ひがあり、源平藤橘、權力の競爭があり、近くしては舊幕府の時代に、公武の爭ひが御坐いましたる其の如く、時代の今古、世界の何處に論無く、二種以上の異つたる思想が、それ／＼の時代を支配し、其の時代の生活する人々の精神を支配して居り、現在に於いてはかゝる二種の時代思潮が、根深く人心の根本を支配して居るので御坐います。

「歴史は繰返す」とか云ふことを、確かエマソンでありましたかゞ申したやうに記臆して居りまするが、此の世界に生を保てる吾人一箇人が朝々暮々同じやうな生活を繰り返して居る其の如くに、吾人一箇人の活動を總合して成立つて居る歴史も、無論同じやうな事相を繰返して居ります。それは疑ひも無い事實でありまする。が、併しながら、唯だ無暗に繰返して居るのでは御坐いませぬ。斯く繰返す裡にも、自らなる終始一貫した一種の意義がありまする。その意義とは？申すまでも無く

進歩と云ふ意義

て御坐いまする。吾人の昨日の生活と、今日のそれと、鳥渡打ち見たる處、全く似通つては居りまするが、併し其の內容に於ては大いに趣きを異にして居る。否一日の裡に於ても然りてあります。朝起きた時の神々しき心地、生活に忙殺されつゝある時の俗惡なる心地、終日の生存競爭に疲れ果てたる時の氣息奄々たる心地——同じ一日の裡に於てすら此のやうな段々の變化があり、而も日は一日と世は變り、人の思想は化るのてありまする。吾人が、人の內的生活に於て相違を見ると申しましたのは、申すまでも無く此の點を云つたので御坐いまする。

一箇人の心の裡に、世界の思潮の裡に斯る變化、矛盾、衝突のある如く、男女性を異にした幾人かの個人から成立つて居る家庭の裡にも、斯る變化、矛盾、衝突が御坐います。それは此處に申すまでも無い。ましてや、此の矛盾多き家庭の裡に、年齡を異にし、思想を異にした幾組かの夫婦が雜居して居るのもあらうし、左樣で無くとも、所謂「合せもの」て御坐いまして、

昨日までの他人

を強て今日からは同心一體とか云ふ夫婦たらしめると云ふのが、概して目下我が國の結婚法て御坐いまするから、眞に夫婦の情合を互に解するやうになるのは、一朝一夕のことて無いのは申すまでも御坐いません。一歩を讓つて夫婦の情合が最初から水も漏さじと互に相出遇つたと致したところて、此の思潮の絶へず激變して居る急流の裡に、川瀨の杭と抵抗して居り、全く思想の根本を異にして居る後れた時代の家族——手取早く申さうなら嫁の側から申せば舅、姑と云ふ家族の一員があります。

若い時代の方の夫婦が、一家の戸主てある以上、表面上は何處までも、舊い時代の家族の人々は、附屬物てあります。表面上は何處までも權利の無い、所謂

老ては子に從ふ

の立脚にある人々てあります。が、併しそれは眞の表面上のみのこと、理屈一片のみのこと、多くの家庭に於ては、その家庭の實權が戸主に無くして、反つて道理の上ては日影ものたるべき處の老たる家族の手に握られて居ると云ふ場合が屢々御坐いまする。と、申した處で、吾人は、それが不合理だとは申しますが、未だ／＼家柄と云ふものゝみを重んじて居りまする今日に於て、必ずしも惡いことだとは斷言致しませぬ。が、如何に平和なる如く表面上見えて居る家庭の裡にも、此の不合理の事實の爲めに、幾分、若しくは大いに若い夫婦は互ひの頭腦を痛めながら所謂「長い物には卷かれよ」「泣く子と地頭」て、矛盾した人情、義理の柵に堰きに堰かれて、詮方無しに、云ひたき不平をも呑み込んで、無理に我慢して居る氣の毒な、大きく云へば時代の犧牲者となつて居る向も尠くない。吁、何と悩めるかな、現今の過渡時代に若き思潮の代表者となれるものや、と、まあ、吾人は云ひたくもなるので有ります。

再び歴史上の事實を例として擧げましやうなれば、彼の鎌倉時代には政子と云ふ傑物があり、舊幕時代には春日局と云ふ婦人が御坐いました。

政子と春日局

兩人とも英い。仲々英い。或る意味に於て歴史上の大人物てあつた。が、此の二人は所謂「日蔭者」てあつたので御坐います。この日蔭者——表面上何の權利も無い此二人が其の權限以外までも羽を擴げて跋扈出したが爲めに、鎌倉、舊幕兩時代に於て、いかに多くの犧牲者を出したことてありましたらうか。歴史を精讀さるれば、何人も吾人の申すことの決して虚僞てないことを發見さるゝことゝ思ひまする。

何が故に、北條政子が勢力の羽風を鳴した鎌倉時代、春日局が跋扈出した舊幕時代に、時代の犧牲者を多く出したかと申すなれば、それは、政子にしても、春日にしても、不自然の勢力を振つたからてありまする。云ふ莫れ、愛讀諸姉、二十世紀文明の現代の家庭に、政子、春日局の如く不自然の勢力を振ふ家庭の「日蔭者」莫しと。また、云ふ勿れ、二十世紀の家庭に於ける現代の政子御前、春日局の爲めに、可惜犧牲となりながら、義理の柵に、人情の柵に、沈默の不平者たる若き思想の人なしと。

講者は前號に次號には夫婦の情合と云ふことに就き講話致さうと御約束は致したなれど、思ふ處あつて、先づ本講話は不自然の家庭に就いて斯くは申し述べたので御坐いまする。左樣なら！

（愛國講座）

指輪物語

原篠川

西夬から起つてバビロンの國主となり、更に國々基督諸教國と、干戈を交へられたるザラディン王は、一つは是等の戰爭の爲め、又一つには華美驕奢の爲め、流石に內帑の空乏を來した、所が急に大金の御入用となつたが、遂にそれ丈集める事に行かぬ、亞歴山に高利貸をする、メルヒゼデッヒと云ふ猶太人なら、貸さうとさへ思へば御錢は持つてゐるが、中々の握り屋の事てはあり、我と進んで貸しさうにない、腕力沙汰では大人氣なさ過ぎる、と云つて入用は入用なので、國王は強ひて借り取る一策を案じ、使を遣して彼を呼び寄せ、我傍に侍せしめて親げに、

「予は卿の賢明にして、精神上の諸問題にも、熟錬せりと聞き及ぶ、然れば猶太、回々、基督の三教中、何れを最正しと存ずるぞ、卒爾ながら予に敎へて呉りやれ」

實に國王の御言葉通り、元來俐發な男であるから、之を聞くなり國王は、我言葉尻を捕まへて、[illegible]なしのうの御肚と推した、乃ち何れの宗旨をも、決して貶める譯には行かぬ、思や角等へてゐる中に、やがて妙案が浮んだので、

「陛下は只今私に、重大なる御下問が御座りましたが、先づ手短なる御物語を、一つ御聽きなされて下さりませ、傳へ承る所によれば、昔然る富裕な人あり、多くの珍寶の就中、價貴き一個の指輪を、所持な致してをりました、之は高價にして美麗なるより、永く子孫に傳へんと、之を得たる者は家嫡となり、族長として尊敬せらるべしと、申渡して御座りまする、子孫は遺訓に從ひましたが、幾そばくの世も經ちて、愛敬深く柔順に、我命令に違背致さぬ、兄弟三人の子を持つた、先代の世となりました。彼は我兒を等しなみに、可愛ゆく存じてをりましたが、子供も家憲を承知して、指輪を得んと互に競ひ、父の齢の傾くを見ると、各自分に譲るやうにと、言葉を極めて願ひました。何れ差別も御座いませんので、父は其度に應々と申し、改めて三人を滿足せしめる、一の手段を講じました、乃ち巧な指輪師に命じて、二個の模造を致させまするど、自分にも眞僞が判ぜぬ程、甚だ甘く出來ましたので、臨終に三人別々に呼び寄せ、窃に一つづゝ指輪を與へると、死後三人の子供等は、各族長とならうと爭ひ、親の御身を證據に出しました、然し何れも同形で、眞僞を分る事が出來ず、從うて三人の何の人が、家嫡であるかも決められず、今日までも決まらぬのだと申まする。扨私は同樣な事を、只今御下問になりました、三國人の宗敎に付て、申上たいと存じまする、各國共に其宗敎は、神の直傳なりと信じてをれど、何れが正統て御座りまするか、只今とても解りませぬ」

之を聞いて陛下には、相手が甘く我陷穽に、陥らなかつたのを御悟りなされて、寧ろ直接に我希望を述べ、進んで用を足すか否かを試めさうと思召し、我意中を御明しになり、更に此聰明な返答がなかつたなら、斯う／＼思つてゐたのだと、潔く御打明けなされて仕舞ふた。すると相手は却つて喜び、即刻御意に從うて、御入用金を調達した、此後國王は元金を償却せられた上、更に非常の御惠みがあつて、此猶太人を御友人に遇し、大に尊敬してゐられたと云ふ事である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家庭簡易西洋料理法

私立英語館門櫻井女塾長 櫻井ちか子

COFFEE

Wash one egg, break and beat slightly. Dilute with half a cup of cold water, add the crushed shell and mix with one cup of ground coffee. Turn into a coffee pot, pour on six cups boiling water and boil for three minutes. Add one-half cup of cold water and place on the back of the stove for ten minutes. Serve with sugar and cream.

コーヒーの入れ方

玉子壹個を洗ひて後ち、鉢の中に割り込み、克く混化ぜ、其中にコーヒー茶碗に半分の水を加え置き、次に玉子の殻をつぶし、茶碗に一杯のコーヒー粉の中え入れ前記の玉子と一所にコーヒーわかし又は土瓶の中へ入れ、其上に煮湯六杯をつぎ込み三分間沸騰せたる後ち茶碗に半分位の水を入れ、ストーブの後の方又は極文火の上に十分間程置きて後ち、コーヒー茶碗につぎ、クリーム(濃牛乳)或は罐詰牛乳と砂糖とを入れて出すのです。

(注意)前記の分量で凡六人前出來ます。其濃薄は人々の好によりて、コーヒー粉を加減すればよいのです。

△前號の揚パンにかけるソースバタ小匙一杯と砂糖小匙一杯とをよく練り交ぜ、之に葡萄酒大匙一杯を加へ、少し温めてバタと葡萄酒とよく混化したる後、冷し置きて前記の揚パンの熱い内にかけるのです。此中にナツトメグ又は粉肉桂を少し入るれば尚よいのです。

家庭醫者

大野病院副長醫學士 三原新太郎

乳房の病氣

この乳房の炎症はどんな年齢の人にも來るもので、生れたての小兒から、腰に梓の弓を張る樣なお婆さんにまで來るものでありますが、一番多數なのは、出産をした人とか、或は子供に乳を飲ませて居る人とかであります。啻に婦人計りでなく、男子にて春機發情期になりますると乳腺が痛くなつて、多少大きくなるものであります。殊に婦人でありますと、月經の時には、誰れでも乳嘴及び乳輪に色がつきまして、多少黒沈んだ色を呈しますのが普通で——若し月經が不順であるとか、閉止つたとか云ふときには、乳の中に、乳腺の中に出血があるやうなこともあります。又外界から受けた傷即ち外傷とか或は子供に嚙まれたとか云ふ其の傷から起る所のものもありますので、先づ申して見ますると

第一 實質性のもの
第二 先天性のもの

との二つに分類して御話いたします。

實質性のもの

と申ますると、極く簡單なのは乳腺の停滯から來るので、これは産婦に多いのであります。前にも申た通り乳腺は多數あるので、其中の一つ二つ或は皆滯停いたしますると、乳が大變固くなつてさうして痛むのであります。殊に姙娠の了り頃の分娩の間に乳腺は漸々分泌を初めまして、一寸乳房炎のやうな形になることが往々あるので、可なり熱が出まして、痛む。之を推して見まするると、乳房は固くなつて腫れ上つて居る。摑んで見ると、い、しこりのあるのが普通である。皮膚を見ると少し紅くなつて居つて時々淋巴管が炎症性に腫れまして、腋下の方に走つて來るのが見へる。さうして之を推し出して中の乳を檢べて見ると、別に其中にバチルスの如き病菌はありませぬ。これは**自身でも癒す**ことが出來るので、第一は二プロセントか三プロセントの硼酸水或は礬土水で始終冷却しても宜しいので、若しくは近來ビール氏の欝血療法などは美事に癒るものであります。次には

傳染性の急性乳房炎

であります。最初は乳嘴に焮衝が出來まして限局性の蜂窩織炎となり、病菌が這入つて漸々内部に、即ち乳腺から乳房の實質の方に入り込みます。さうなると乳房全體に炎症を及ぼして、前に申したより尚ほ烈しい所の現象を呈します。即ち熱が大變高く(惡寒戰慄を覺ゆる程)極めて痛いので、小兒に乳なぞを飲ませると到底堪え切れん程痛みを感ずるので、其乳腺の固りが外部からも觸れることが出來る。がそれに觸れると非常に痛い、竟には皮膚が赤くなつて炎症性の乳嘴が起る。即ち乳房全體が固くなると云ふ譯でなく或所は固く或所は固くないといふやうに一樣でないのが特色でありまず。遂には皮膚が破れ、溜まつて居つた濃汁が出て來る。このやうになつたのは、決して最早素人療治では出來ないので、一刻も早く醫者の所に行きまして、手術をして貰はなければならない。殊に注意すべきは、少しでも熱がありましたならば其乳を小兒に飲ませないことでありまず。若し間違つて濃汁でも飲ませまするると、**小兒は腸カタル**を起して大切な小兒でも竟に人力の及ばないことに至ることがありますから、一旦化濃致しまするると何うしても組織が破れます。そして癒つた後も其惡い點は瘢痕が出來まして、以前のやうにならぬ。又時とすると少も乳汁が分泌しなくなることもあります。繰返し申ますが成るべく早く醫者の處に行く事が肝要て、遲くなつてからは何んな名醫でも必ず癒すと限つたことてありませぬ。殊に近頃は良法が發見されて居りますから、昔のやうに一度乳が膿んだならば駄目と諦めることはないのであります。この次には

慢性乳房炎

のお話を致しませう。

閨秀百佳選

本誌て募りました閨秀百佳選に應募された愛讀諸姉の數は既に百餘名に達しました。その芳名は本號及び次號で發表致しますが、それと共に來る六月廿日の誌上から漸次掲載する筈て、目下それ〲の諸名家に揮毫御依賴中で御座いますから左樣御承知を願ひまする。

京都市室町丸田町下ろ　磯田もみち
東京市京橋區木挽町九丁目　三浦　卓
香川縣仲多度郡豐原村大字南鴨　山地きぬ子
京都市下京區油小路七條上米屋町　菅　みつ子
廣島縣神名郡油木村　岡　かつ子
山梨縣甲府市愛宕町　林　友惠子
神奈川縣横濱市辨天大通四丁目　鈴木まつ子
埼玉縣比企郡西吉見村　森田たけ子
京都市東洞院三條南　津田きみ子
韓國鎭南浦　西崎久榮子
山口縣吉敷郡吉敷村　末田たけ子
同　上　末田貞節子
備後國庄原町　天野　久子
京都市下京區油小路　菅　つる子
三重縣三重郡四郷村　日野千鶴子

畏き邊りの御料に召させ給ふ
完全無鉛高貴御化粧料
御園白粉(みそのおしろい)

ねり製 御園白粉
水製 御園白粉
こな製 御園白粉
洋風化粧クリーム 御園の蕾
高貴化粧水 御園とき水
御顔ふき うち白粉 御園なでしこ
濃厚化粧水 御園四季の花
高貴御化粧油 御園香油
高貴御香水 御園香精
高貴はみがき 御園齒磨

東京芝 製造本舖 胡蝶園 (長)電話新橋七四七番、
東京日本橋區橘町四丁目 發賣元 丸見屋商店 (長)電話浪花四四八番 振替貯金六五三六番

◉御料御園白粉と御園各種化粧品には詰替賣一切無之候
◉御料御園白粉の製造本舖芝胡蝶園は銀座の胡蝶園とは毫も關係無之候
◉銀座胡蝶園にて發賣する御國白粉は御料御園白粉とは全く別物に御座候御購求の際は篤と御注意奉希上候

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

和歌

佐々木信綱大人選評

天　またもてんまたとひませと送りいてゝわかつ秋にちる櫻はな　全田つるゑ

評。やさしき女どちの別るゝに、花又心ありてちりしなるべし

地　雨そゝく窓によりそふ夕暮や庭のつばきのおちて音なき　爲田よしの

評。閑寂の境寫し得てよし

人　ふる雨につはさぬれたるつばくらめ去年のふるすをたづねてや來し　金原なを子

評。去年を忘れぬなつかしうこそ

秀逸

繰二つ來ては遊ぶなりあすはちるべき花としらでや　愛知 湯淺とよ子

うちむれて若菜つむ子がふりわけの黒髪みだし春風ぞふく　東京 林 喜久子

大井川くだすいかだのとこの上に花ちりかゝるゆふまぐれかな　東京 飯塚きよ子

春雨のやう／＼晴れし庭のおも夕日にはゆる緋牡丹の花　香川 瀬高やす子

雲かとも見し山櫻花ちりて青葉がくれに春はゆくらん　山口 末田貞節子

やきすてし飛火の野邊の春雨にふたゝびもゆるはつわらびかな　山口 末田竹子

曾の葉のはえある花の一つだにつまでくれゆく春ぞわびしき　三重 小島駒子

蝶の來てとまる花かげ乳母の背にねむれる乳子の夢ものどけし　群馬 木暮千代子

雲に入るこゝちこそすれ眞盛りの花の山みちたどり行く身は　甲斐 加藤由利子

長閑にも雲雀引く片岡の鈴菜がくれに雉子なくなり　鹿兒島 藤野錠子

なしの花ま白にさける山畑に夕日匂ひて黄なる蝶とぶ　岡山 横川明子

花ちりしこずゑ若葉の淺みどりそぼふる雨にいろやそふらむ　豐橋 平松いと子

水車きしる音して川添の柳細道牛歸るなり　岩代 長谷川吉野子

甲

赤阪のみつけあたりの花ふゝきかざす日がさにふりかかりけり　赤阪 清水まさ

あかつきの花をみすてゝゆくかりは雲のしら山月にこゆらむ　東京 高橋珍子

綱ひきて渡瀬を渡る夕月夜木音寒く櫻花ちる　東京 小山季廣

五月雨のふりくる糸にとめんとや山ほとゝぎすおちかへりなく　尾張 神林すみ子

和歌の浦たどりて見れば長閑にも霞わたれる春の海原　青森 大橋たま子

月の夜を吹雪花散る大井川春は寐あゝ筏のりかな　東京 西川鎚子

友とちと花の木蔭にまど居して編むもたのしき昔の草衣　東京 大橋八佐子

少女子がましごとすなるしろとなりぬ今朝咲きいてしすみれ一ともと　長野 植原千代子

葉櫻の木の間がくれによぶことりくれゆく春をあはれとぞなく　京都 中川たか子

打みだるきしの柳のひまもれて加瀬にかすむ春の夜の月　山城 古川よね子

鶯もくれ行く春をなしみてか花なき梅の立枝になく　山形 阿部さゑ子

山はみなかすみのいろになりにけり遠山櫻咲きそめしより　豐橋 市川みどり

梅もちり櫻もうせしわがやどにひとりさびしく小雨そぼふる　越後 阿部秀子

春風に櫻の音遠く聞ゆなりきしのひむかし竹村の庭　東京 松田重子

かへりゆく雁の一連あかつきの霞やぶりて空に消えけり　廣島 金原なを子

ゆく春を惜しむ心はおなじきか啼しきりけり鶯の聲　伊勢 日野千鶴子

今日も又花の木蔭にゆきくれぬなく鶯にうかれ／＼て　岡山 西村てふ子

散る花をそとてにうけて思ふかなかくてふり行く己が身の末　大分 桂木清閑子

まさかりの花に心のうつろひて旅のうさをもわすれつるかな　横濱 鈴木まつ子

苗代の水引かへる小山田に聲さへ清く鳴くかはづかな　愛知 藤谷しづゑ

家つとに賤の少女が刈草とそへて荷なへるにつゝじの花　紀伊 中橋多麻子

めづらしき友にとはれてわが庭の初わらびをばならせつるかな　伊勢 諸戸常子

淺みどりしづけきあめにもえいでゝかすみににほふ青柳の糸　京都 富田鳳峰

かしこかれとこてふとなりて九重のはなのうへにもれぶりてしかな　甲斐 名取正代子

花のもとわすれがたさにけふもまたあほ葉のかげをとひ來つる哉　京都 津田君子

あるしせしむかしの花を思ひつゝたづぬる山にゆきくれにけり　三重 中島千萬子

日もすがらいとまなきみはなか／＼に月も匂へる花をみるかな　堺市 全田ひさ子

よの中にまたぬ人なきはなのときなにそはあめのふりつゞくらん　大阪 大谷たか子

花のもとにあそぶひと日はわさをきみみるよりもなほおもしろきかな　東京 飯塚きよ子

朝つゆにたはみてにほふぼうたんの花うつくしき春のくれかな　仝上 仝　人

天なとゆ手たまく玉か山の紫の花にあやかるはるの夜の月　下野 岩根綱子

かへり見る人こそなけれ名なし草櫻こかげに花はさけども　京都 安久春子

乙

久方の天つみ國に聞ゆなりかすみにかゝる春のしらべは　京都 田中ひさゑ

夕日を背に青笛ふきてかへる子は若葉のかげにひゞきのこして　仝上 仝　人

蝶ならぬ身も咲く花にあこがれて西に東にまひて暮せり　青森 大橋信子

ながめてもあかぬなりけりわたの原かすみわたれる四方の浦々　青森 大橋かれ子

春雨のふる日はいとゝもえ出て打けぶりぬる青柳の糸　岡山 清水梅子

かすみたつ八重の汐路をかへるなりなほ古里の春やこひしき　山城 古川米子

眞帆片帆小舟の通ふ春の海濱につゞく夕月の空　三重 荘司種子

時ならぬ雪かと見れば櫻花風にひら／＼蝶もまふなり　岡山 八木清子

興はなほつきこそやられさすらひの身にも湧き立つ春ごゝろかな　佐賀 楠本 春

大空の高きを望む世の人を見おろしがほになく雲雀かな　甲斐 中島ふて子

ながき世のゆめに見るらんかずしれぬ匂ふ牡丹のそのにあそひて　三重 龜井しま子

まがれ路を走る車を見ながらも乘らんともせぬ春の旅かな　三重 西山數子

浦々のいづれをとはむ春をゆくきゝて見しらん田子の浦かな　東京 伊矢場たか

幼兒と一日くらしぬ春の野に小蝶も追ひつ鬼事もしつ　青森 留目文子

ゆく春のをしきわかれをそてがきにしばしとゞめて匂ふ山ぶき　近江 萩原定子

小雨ふる春の夕に宿るゐしてそゞろに戀し故郷の姉　岡山 西村清子

つくろはれ野べの小草の花さかりみやこの友に見せまほしけれ　三河 水俣六女

春雨にぬれて色そう藤の花君がかへるのつとに手折らん　東京 清永いま

賤の男がすきかへしぬる荒小田にいとをしきまでれんげ花さく　東京 長田鎚子

花園の上ゆく雲も脚とめぬ雲雀三つ四つゆきつかへりつ　靜岡 安永みち子

不思議な繪端書

黒、白、赤の三種に染め分けた不思議の繪端書が卷頭に附いて居る書籍は、今回我が愛國婦人發行所から發行する「女德論叢」で御坐います。

この不思議な三色染の繪端書は、これ懸賞の問題で御坐いまして、この懸賞に當選された方には人數に制限なく新刊の「奧村五百子傳」や「主婦の職分」等を無代價で差し上げます。

尤も此の懸賞に應ぜられんと思はるゝ方々は、來る六月十日までに「女德論叢」代金正價二十六錢及び郵税四錢合せて三十錢をお送り下さい。さうすると此の不思議な懸賞に應じ、且前記の書籍を無代價で得らるゝ特權が御坐います。この事は既に前號にも廣告して置いたので御坐いましたが、その結果前金で申込まるゝ方が續々御坐いますので、別項にも誌して置きましたる如く、六月十日まで特に日延べを致したやうな次第で御坐います。何卒左樣御承知の上、この好機會を逸せられぬやう念の爲め申し上げて置きます。

尙ほ附けて申上げますが、この「女德論叢」には「婦人と修養」「婦人と健康」「婦人と家政」等の最も女德を研くに必要な綱目があり、それ／＼の綱目に就き大隈伯爵、元良博士、鳩山春子氏、三輪田眞佐子氏、山脇房子氏、弁口あぐり子氏、正木美術學校々長、その他知名の方々の名論を掲げて御坐います。て、出版は六月上旬―出版部數が僅かで御注文は山のやうに御坐いますから或ひは期日までに賣切れるかも判りませぬ。

美形隆鼻術

本術は余が始めて廣告せし處にして嗤一回の無痛注射に依り即時に低き鼻を隆くし終身凹むことなく身體に害なき安全確實の醫術なることを保證す

神田今川小路二ノ十一（御嶽教會裏通）

施術午後三時より九時　**和田耳鼻咽喉醫院**

大學醫院辭職開業　和田昌訓

尙例年の如く手ぬぐひ中形も本年は特に新形を撰み格安にさし上申可候

めりんす友染の形がよくて大安賣する　おなじみの日本橋區人形町通り赤のれんおはなやにて　本年は中形おゆかた地を製造元と特約いたし實に目のさめる樣な頗る粹き向き新柄ばかり取揃へ賣始め申候間御らん旁々御光來の程奉願上候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

紀行

善光寺の長野

森 志つか

善光寺の東約二町に一小丘がある。名に城山と呼ばれ、長野市の倶樂部城山館を初め測候所、皇典講究分所、縣社等がある。此處は往昔、天文年間に村上義清の幕下横山信濃守が築城した所だと云ふことである。

此城山より瞰下せば、善光寺平蜿蜒幾十里、直江津行の汽車は此廣漠たる平原を縫て、小く〳〵宛然玩具のそれかと思はるゝばかり駛せ行くのが見える。此平原の處々、村あり、町あり而して長野の町は幾分眞東近くまで突出て居る。倚ほ遙かに此方面を見渡せば、犀、千曲の二川、中に抱ける川中島まで歷々として手に取る如く、行旅の人をして不知不識當年の戰役を追想せしむる事であつた。

川中島

頃は永祿四年八月の上杉謙信兵を信濃に出して犀川を踰え、赤阪山の東に陣を取る、武田信玄は甲府より兵を川中島に進め、謙信の軍の嚢の中に在るが如きを攻め、鏖にせんと計つたのである。當年の雨雄死を期して時の至るを待てり。一夜、山國のならひ、霜は軍營に滿ちて秋氣淸しと戈取りて陣頭に朗詠しけん隈なき月も忽ち影を沒し、俄かに降りくる大雨、宛然黑白をも辨ぜざる裡に理を見るに敏き謙信は此の天候を幸と車攻の陣を布き、急ぎ千曲川を渡り迫り來る。川の水は紅を染めて時ならぬ花の流、電光の閃めき、馬蹄の音、刃を合する響！當年の雨雄、單騎互に戈と軍扇とを交じへけんも、寔に此の時にぞありける。あはれ、國滅びて山河在り、城春にして草靑みたり。千曲の川帶の如く北に流れて鏡の影を寄せ、西條山翡翠の色を凝して今年の春を粧ふ處、恍として萬馬河を亂すの聲を聞く思ひして、身は茫然と現世に、心は過にし古を辿りつ、して暫時佇んで居たのであつた。

川中島の夕

顧反すれば、西方に當つて近く善光寺の大伽藍。この大伽藍は半ば新綠に掩はれて居る。伽藍の後方は次第に山に添ふて自然高に、家あり、畠あり、桃花杏花は處々に點在して、みすゞ苅る信濃路の晩春を彩つて居るのである。「みすゞ」の名、枕詞にのみ今も殘れ、その實物は唯だ僅かに殘れるに過ずと云ふ。それに引きかへ此の杏花は頓て實となれば「ねり杏」として幾多の人々に珍重せられ、國產の名は未だ此の地を訪れしこと無き人々の耳にも響いて居ることである。

閑話休題。この山添ひの里の裡、一段眼に付く建物がある。これは此の地の高等女學校である。これが此の地第一番に萬事萬端の設備行き屆いた學校と聞く。流石は長野である。やゝ古くしては佐久間象山を出し、近く今にしては一流の名士を各方面に輩出せしめた長野である。師範學校あり、商業學校あり、中學校あり、盲啞學校あり、孤兒院あり。殆んど一點の缺漏なきまでに教育は充分行き屆いて居る。その中で一番設備萬端行き屆けるが、此の高等女學校と云ふことであれば、その如何に價値あるかは想像し得べきこと、思はれる。

善光寺、山添ひの里、高等女學校、桃花杏花、畠、新綠――これ等が種々の配合を爲して一幅の幔書を彩れる美しさ！變化多き善光寺平の光景と相對して面白き對照を爲して居る。

前方を見、後を見、飽かず〳〵打ち眺めて居た吾等は、遂に四郡一目の城山を後方に、四門四山の名も著き善光寺へと歩みを進めたのであつた。

佐久間象山

東宮殿下御慶事紀念公園。これを横斷すれば、此處が既に善光寺の境內である「三國一の善光寺、眞如の月の影ぞすむ」と由來の唱歌に出て居るが、これあるかな、時をわかず、善男善女の幾百と云ふが來集ふて居るのである。御堂はこれ素木の建築物、寺域東西百四十七間、南北九十四間、面積一萬五千三百餘坪あるが中に、創立以來燒失十一回後にして、時の政府德川幕府から松代藩主に命じて建てしめたものが、この今の本堂だと云ふことである。時は元祿十六年五月十九日起工、五箇年の日子を費し、寶永四年七月十六日竣工したと云ふ。總地坪五百三十坪、東西十七間餘、南北二十九間餘の建物である。回廊に昇降する爲め、四方に階段のある如く、四方に一つづゝ門がある。而して一つづゝ號が付いて居る。これ四門四山の名ある所以であつて、東を光明遍照門、定額山善光寺と呼ばるゝ。この定額山の山門前に佇みて瞰下せば長野市の最も繁盛なる町々、一直線を爲して、この山門まで打ちつゞいて居るのが見える。

善光寺の背面

要するに長野の市は山添の里である。汽車長野の停車場に着せし時、人よ注意して見よ。いかに其市街の層は一層の高を爲して、殷賑なる街路の善光寺まで續くかを。あはれ長野の町は善光寺ありての都會である。これなくば、恐くは其富の半ばをも得ることが出來ぬのであらう、あはれ御厨子の前なる不消の燈明長へに其光明を保てる間は、長野の富と繁盛とは決して滅ずることあらざるべし。夫れ迷信は闇にして、信仰は火なりと云ふ。朝々暮々、この善光寺の御堂に集ふ善男善女は迷信の人か、信仰の人か、吾等知らず。されど、心五濁に染める人の戒壇を廻る時、たとへ、その人犬にならずとも、幾分或ひは神聖の氣を帶び來るべし。宜、南を十方世門、西を念佛衆生門、而して北を攝取不捨門と呼ぶと。

淺間山

萬般の思念を一心に疊める我は、更に幔書中の人たるべく歩を進めたのであつた。時は午後の四時。

――四十一年五月三日於對旭館――

狒々のヂャン王 (中)

服部 嘉香

イトクラーは云はるゝまゝに傍の木の根に腰を下して、針と絲とを取り出して布切を縫はうとするので、

「イヤ穴を綴つては駄目です、穴が無けりや證據が無くなるぢやありませんか」

と狒々王は怜悧な事を云ふ。

「成程さうでしたな」とイトクラーは繕らうのを止めて、獨言のやうに「ヘン總理大臣もあるもンか、何ゝせ相談した處が碌な考もありやしめえ」

ヂャン王は之を聞くと甚く顏色を惡くしました。總理大臣といふのは性質の狡猾い豺ですが、ヂャン王は非常に此の豺を信賴して何事も之と相談をせんでは氣が濟まぬといふ位なのです。然し、不幸にもイトクラーの預言は適中して、豺はヂャン王國に事あれかしと待つてゐたものですから、遂々其の助言が仇をなして大事件となりました。が、それは後のお話で、ヂャン王は豺と暫く小聲で私語いてゐましたが、やがて豺が臣下一同を召集めに出かけました。

臣下どもは常例の順番に並びました。先づ少さな黑鼠、それから猫、次が縮れ毛の犬、隣つて杖、其の向うには火が燃えてゐます。火の向う側は池の水、水を越えて岸には象が立ち、象の脚下の草の尖に蟻が止つてゐます。

「イトクラー殿、先づ其の布切を見せて下さい」とヂャン王が云ふので、イトクラーは彼等の面前に穴の明いた布切を持ち上げて見せました。

「それで穴を明けた罪人といふのは」

「鼠です！」とイトクラー。

「イヤ猫がしたのです！」と鼠が答へる。

「ニャーに、犬です」と猫が云ふ。

「何うして〳〵杖がしたのです！」と犬が吠えた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新詩

編輯局同人選評

二等

あけぼの　因幡　橋浦美喜子

曙の空遠白み
朝の香深き大野良に
春こそ來ぬれ南より
夢美しき佐保姫が
露にぞ秘めし瓔珞の
きらびやかなる光にも
菫たんぽぽだんだらの
毛氈を敷く花影に
紫紺のとばり、——舞の歌。
ありし世の香の匂ふかな。

評　原作は餘り佳くなかつた。

三等

初夏　岡山　八木清子

花ちりぬ青葉となりぬ。
大野原もや立ちきらひ
いとほのに桑の畑見ゆ
赤たすき、白き手拭
里の子の群れは鄙歌
をかしげに摘みてそ唄へ。

評　簡潔によく作れましたが、原作は少し露骨すぎました。詩には餘韻が一の要素で御坐います。

三等

夏　岩代　長谷川吉野子

五月たつ日のあけぼのに
玉のかんむり青の衣
きらびやかなる粧ひに
夏の若子ぞあもりける
やがて佩せる黄金太刀
一振ふれば野山みな
緑に衣を更へにしか
二振りふれば眞玉なす
泉は湧きぬ。大御空
雲の影なく日ぞ燃ゆる。

評　想は大層おもしろう御坐います。原稿は未だ技巧に申分がありましたから補削しました。

行く春　廣島　金原直子

世を夏の男神にゆづり　紫の雲かとまがふ
藤波にたゆらに乗りて　佐保姫の春の女神は
うす紺の御衣の裾に　百花の咲く野を摺りて
御空にぞ歸らせ給ふ。

評　お上手になりました。技巧の點に申分はありません。

春の夜　靜岡　安永みち子

夕月ふみて只一人　細道ゆけばいと微に
ひゞく樂の音わが魂は　音する方にさまよひぬ
今日を命と春の花　月も朧ろの草かくれ
結びし庵の破垣を　亂れぬ調べ洩れて來る
泉を君と兄の君と　うつゝに知つ。これぞわが
胸に花さき血ぞ燃えし　遠き世の日の初めなれ。

評　一層の洗錬を要す。着想は稍佳。

殘・醒　下野　那須の花

ありしは春の夢なりき　一人殘醒の思ひ出に
命をきざむ時計の音　死をせまるかと恐怖かる

評　簡潔にして佳。猶ほ勉めて上達を期せられたし

京の春　京都　太田久野子

加茂の流れに春立ちて　朝彩靄のよそほひや
岸の楽やなぎ和風に　神の裳裾の靡くごと
上京あたり町娘　晴衣着て行く影紅し。

評　原作は朦朧體なりき。

少女子　大分　桂木清閑女

夕日の影を背にあびて　梅の古木にもたれつゝ
梢に囀ける鶯を　曇る眼に眺め入り
愁然として少女子の　佇む影の由ありげなり。

評　原作は繼兒と云ふ題で、長々しい歌でありました。繼兒などはもう舊い。强て歌ふならもつと觀察を新しく爲なければ駄目です。

應募者へ注意

一、應募諸子の奮勵と勉勵とによりて、新體詩壇創設日尙ほ淺きにも係らず。頗る盛況を見るに至れるは選者の最も欣ぶ所なり。
一、本壇の盛況を呈すると共に、應募者の數も益々增加し、毎號新らしき作家を出し、應募投稿も夫に從ひて增加しつゝある今日なれば、
一、今後選者は一層本壇の發展を計らん爲、從來よりも撰評を嚴にし拙劣なるものは遺憾ながら沒書にすることゝせり。
一、これ甚だ酷なるが如きも、本壇の進步を計らんとせらるゝ方は必ず首肯せらるべし。
一、されど諸子が若心の作をみだりに沒書するは心苦しき事なれば、なるべく應募者は二篇以上づゝ投稿せられたし。二篇以上幾篇にても多きは差支なし。以上一言す(選者識)

パスタ ムスク石鹸
東京博覧會機械館製造特賣中畏くも麻布兩内親王殿下御召料たる光榮を賜ふ

季節向流行半襟各種
半襟は赤のまんに限る
本店 神田表神保町壹番 電話本局二八五三
出店 新橋博品館階上

おは口油
本舗 井善

商品切手調進仕候
甲斐絹屋
本店 神田區小川町 電話本局四八九 振替貯金口座一五〇〇〇
支店 京橋區銀座 電話新橋八三三

北辰社牛乳は最も滋養に富む
明治十九年二月十四日一等賞を受く

北辰社精製のバター1は味佳良

御婦人用
夏ショール
小兒用帽子
夏手袋沓下
教育玩具
リボン造花
小間物化粧品

東京牛込神樂坂下
朝日堂
電話番町一六九九

東京市麹町區錢瓶町(常盤橋内)
日本興業銀行
電話本局 〃、二八〇番 三、三〇〇番 四一番 三七番 (特)一〇二番
資本金壹千七百五拾萬圓
營業科目
一擔保附社債に關する信託業務
一有價證劵其他貴重品等の保護預
一有價證劵の賣買元利金の支拂及び取立
一地方債、社債、株式等の發行募集事務
一各種の信託事務
一國債證劵、地方債證劵、社債劵、株劵の擔保貸付及手形の割引
一國債證劵、地方債證劵、社債劵の募集又は引受
一法律規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
一定期預金、特別當座預金

キハク印
最上醬油
於聖路易博覧會 名譽大賞牌受領
釀造元 千葉縣野田町 茂木七郎右衛門 信略號(キハク)
キハク印醬油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは世さん一般の評判ですどーか其あぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます
東京支店 日本橋區小網町三丁目 中野長兵衛 電話浪花五七七四

短文

編輯局同人選評

一等

子ごゝろ　京都　安久　春子

腹痛の氣味で床についてゐると、暖かい春の日永に、小半日子守と遊んで來た三つになる淑子、母ちやん！と、眞晝間床の中で乳吸ふ事のうれしさに、思はず口を走つた、その嬉しさうな顔。

評。母にあらざれば解せられぬ情合。

二等

わかれ　岩代　長谷川吉野

「金さん私どうしたら好てせう、親父さんや御母さんは、義理ても吉さんの處へ遣らなけりやならないと云ふんだから、私ほんとうに……

「そりや無論親の言葉に從ふより外に、仕方はないさ、己はどうせもうあきらめてるんだから、

男の眼には露がきらめいた。

「あら金さん、私嫁くと云ふんじやありませんよ、相談してるんじやありませんか、それにそんな……

女の聲は低いけれど震えて居る、今し雲を出た月光は、橋の袂に倚て相語らふ二人の青白い顔を、斜に照して居る。

評。構想新ならずと雖も、捨てがたき趣あり。

三等

水車小屋　京都　富田　眞壽

村端の水車小屋の軒に、緋桃が眞盛である。其桃の花よりも濃色の毛布を着て、道端の石に腰をかけ、暖かい春日をあびながら、くはへ煙管で花と車とを見るともなく見て居た老人は、いつしかコクリコクリと居ねむりを初めた、水車はのどかに廻つて居る。

評。これも着眼は旨い。然し全篇よく整つて居るから選ることにした。

佳作

〇〇いま／＼しい憎らしい　静岡　安永みち子

箱爪齒の關路である。十餘名もと來た道を拜金の杖、いつのまにか違つた道を歩いて居る、蜜柑畑が右に見える、通りかゝりの嫂さんに聞けば、これでいゝと敎ふ。一丁程進んだ頃、常陸山よろしくの肥滿つた村男子がノツリ／＼近よつた。皆避け氣味にすり違ふ時、如何らしい空親切、靜岡へ出さつしやるには、どうでもこの川渡るだ。この邊は淺いぜ。破鐘叩くやうな聲音にあきれて一同、言葉もなく故の途へ引かへした、そして蜜柑畑を左に進むと、車引いて通り掛つた男が、笑乍ら、彼奴とう／＼駄賃とりそこれただ。

評。もすこし簡潔に書かれたら、もつと引締つた佳作が出來たらうと思ふ。

〇〇照れかくし　群馬　伏島たき子

妹の大病に、母の出産に、心のあまる折もなかつたのお大事情のもとゝなり、なつかしい／＼愛國婦人へ無事しないのもこれて滿四ヶ月、今更諸姉様のおなかまへ、お入れ下さいといふのも、おはづかしいし、入れても下さるまい。それにもう、忙しい／＼靈側になつたのだもの、どうしやうかしらとおもひながらつい。

評。照れかくしにそんなこと仰つたつて、選者は許されないから駄目です。親の道を極められた貴女から又はからず無事されたのを見ると、なつかしいやら、うらめしいやら。そんな薄情な方のは、掲せやうか掲せまいかと思ひ乍らつい。

〇〇原稿日記　山形　岡部さゐ子

愛國婦人が來た、短文の題は何と出たらうと、開く手もともかしく封をきると、下女が駈けて來て、車夫の辨當のお菜をきく、人が來る。新聞はついそのまゝ、翌日か過ぎてやう／＼短文にすべき材料を考へついて手紙を開くと日は西に傾いて物のあいろもわからなくなる。仕事をしなければならない。

忙しさに筆とるひまもなく、〆切にはあと三日を餘す許り。漸くの思ひで部屋に入つてペンをとれば、字はにじむ、文はかどらぬ、まちがふ、直す。それて出來あがつた原稿が、若し理窟てもならうものなら。

評。お察し申ます。理も面白い思ひつきてす。

ゝゝ〇お雛様　香川　瀬高やす子

社のお稽古か、大層お歸りが遲い、姉様と二人夜櫻見乍ら、そこの横までお迎に出て見た。種々話に氣をとられて夢中で歩いて居ると、ひやりと襟元に花の雫がおやと立とまつてあをむくと、なあにと仰つて同時に梢を見あげられたお雛姉様、花と花との隙間から洩れて來る朧月の影を、おぼろに浴びて佇むすつきりとしたお姿、その美しかつたこと。

評。そんな美しいお姉様をお持になる貴女のお身の上が羨しいやうに思はれます。

ゝゝ〇さだめ　佐賀　小林かめ子

海山越えて琴につれて唄ひ出された先生の御聲の麗はしさ、清かさ、わが心もうつとりとした心地が致します、けれどもその涼しい澄み渡つた御聲の中に、何となう哀愁を帯びてる様に思はれるのは、私一人の思ひ違ひて御坐いませうか、ふとしたことから、西の都に立派なお家を残して、かゝる山奥のあばらやにお住み遊ばす御身の上、淋びものとして御習ひ遊ばした琴を力に、その月を送る苦しきつらき御心のおもひが、御聲に出るのではありますまいか。

評。も一息よく書かれたら面白い作が出來たらうと思ふ。題目は一寸佳い。

ゝゝ〇更衣　三重　中島千萬子

七八つの男の子水桶やたらいなんとたつさへ、きん魚の水をかえんと、庭先へきにければ、母は顔をしかめ又水いしりをなすならん、衣やぬらせしとて、去年のまなるかろき衣とかえさせ、其衣のちいさくなりし事よとえまへば、男の子も身のかろきをよろこびぬ。

評。想筆並び秀てたり。

ゝ〇歸校の一朝　山形　三浦芳野

おそくなりますよ、との母が慈愛の聲に驚いて、目をこすり／＼、母に手傳せつゝ、やう／＼身仕度を終りなつかしい我家を離れた、雲をあさむく計りの有明の月をふんで、吸鎖橋についたが、待合せておるべき春子さんは、未だ見えない。どうしたのかしらと欄干にもたれて水の面を眺めてると、月もそぞろに流れ出づるやう、春子さんの近寄るのも忘れてじつと見恍れた。

ゝ〇武者振　東京　中山由子

兄さんが來たと活潑な弟武雄の大聲、勝手に居た私は襷をはづし乍ら玄關に廻ると、軍服の兄は靴をぬぐやうれしさうに、にこ／＼と飛ぶ弟をいきなり抱いて奥へ行く。お茶を入れて奥の間に手をかくると、とつと起る笑聲、今弟の武雄は兄の軍帽を冠き、劍を片手に握つて、肩怒らし乍ら「僕はお山の大將だ。」

〇古鄕の春　秋田　清岡鉱子

春雨のいとものしめやかにふる夕、古鄕の事ども、そゞろに忍び出らるゝもいとわびし、あはれ、かの山邊の梅は今も竹籬の頭に匂ふらん、かの小川の岸の柳はいかに、旅なればこそ物をも思へ。

評。ふるけれど親すくなし。

〇百千鳥　青森　留目文子

當暦四月八日は入串様の御祭とて、村の若衆は皆晴衣なつくして遊ぶなり、されば姿も長閑なる野邊に歌袋をや探らんと、少き妹をつれて畑道を行く。いとおかし。

評。簡潔に書かれたし。

〇　青森　三上八重子

亡き人は足形は残らずとも手形残ると古言にあり。それより十年の昔明治卅二年におりし頃、初めてそろばんを用ふとて、姉なる人の、わが算盤に姓名を書かれ給ひしがその後四年すぎての春、櫻の花と共に姉なる人も不歸の客となりて、一週間目に近火ありわが家も共に燒け失せしかば、かの算盤も共にやけうせし事と思ひ居りしに、計らずも此度他家の物置場より現はれけり、時も時とて亡姉七周忌に相當する今日の事とて、云ひ知れぬ懐しさ、悲しさに心も筆も亂れ乍ら書いつけぬ。

評。かたみこそ今は仇なれ、これなくば忘るゝ時もあらましものを。の一首よく貴女の胸裡を寫す。

選外佳作　桂木清閑女△中川たか子△阿村長子△藤野錠子。以上諸氏の寄せられたるものは、皆とり／＼に目出度き作品乍ら、紙面の都合にて遺憾乍ら掲載を見あはせたり。次回には一層すぐれたる佳什を寄せらるゝやう切望す。

讀者欄

記者より。先頃から屢々諸姉の御勸めが御座います、諸友諸嬢の御寫眞を掲載することは、大層おもしろい事と存じますから、御勸めに從ひまして之から然う致したいと思ひます。しかし夫にはどうしても諸友諸姉から率先して御贈り下さらなければ、六ヶ敷い事なので皆から、どうぞドシ／＼御贈り下さいませ。

讀者より。記者様さぞ毎日御多忙て被入いませう。然し私共は雜誌の來るのを、何の位お待ち申して居るかは申上げずとも御察しの事と存じます。何卒ます／＼御身御大切に遊して、益く／＼私共の良師とも御成り下さいませ。拙當地は櫻もそろ／＼散りかゝりましたが、摘草には好時節で晴天てすと、自然と籠とナイフを手にしてしまいます。當地も來年の春には師團も出來ますから御出掛遊はせな。春日山の春など御案内致しませうさよなら。(敬後、阿部秀子)△一筆申上候御添削の程さへ有難く存じ居り候處此度は新體詩賞撰いたゞき候て又々美事なる御扇子二つ迄に諸友諸姉の面影しのばるゝ美しの繪端書たまはり有かたく蕨き申候愈々文苑の花盛待入り申候かしこ(安永みち子)△歌文投稿の諸君たちの御寫眞を號紙上に御出し下さるまじく候哉云々(横川明子)▽此種の書状が絶えず參ります。どうぞ御贈り下さい(記者)△貴誌第百四十九號には何故文苑募集廣告は無つたんてすか、和歌は一人にて數首投稿しても宜いのてすか。前號に記事せし句が後の號に出る理由は(藤野錠子)△文苑は募集廣告を出さなくとも、いつても募集して居る事と思召せ。和歌は數首御投稿下すつて差支御座いません。前號に應募されたのても、締切後に到着した時又は和歌なら和歌と明記して無つた時などは、遅れますが其他に何もありません(記者)△一寸御尋ね申上候第百五十一號天位賞選俳句「賤鳥のわた毛なつかし春の風」は中島多麻子と御記名御座候處、自分のに相違無之候間御調べ下され度候(中橋多麻子)▽鮮寫の際誤記したるにて何とも申譯無之候以來注意すべく候(係)△拜啓過日は百五十一號俳句當選の由にて、婦人の慰問使乗に綺麗書五枚御郵送被下有難く頂戴致候乍延引御報知申上候(西山數子)△拜啓先日は拙詠當選の由にて總裁宮妃殿下御鈴鮮ならびに繪葉書御恵贈被下有かたく拜受仕り候先は不取敢御禮まてかしこ(飯塚さよ子)△一寸御尋ね致します募集になります和歌は、前には一人一首限り繪葉書といふ規定て御座いましたので、其つもりて居りましたが、先月廿日發行の誌上には一人にて數首御出の方もあるやうに見受けますが(末田貞節子)▽和歌に限らず文苑は凡て一人にて數首または數文御投稿下すつても差支御座いません綺葉書交換の御望の方は繪葉書て御投稿下さい。御望みて無ければ用紙は何でも宜う御座います。(係)△拜啓今般俳句拙賞に當選致し誠に嬉しく父母も共に喜び居り候。嬉しさを笑ひつくさぬ笑顔かな(芳季茂)▽賞品の御贈寄は御辭退申上候(日野千鶴子)▽度々の御辭退てすから、此後は御言葉に從ふ事に致します。(記者)△平民の愛讀者は第百五十二號所載の社説「氏」に對し恥からざる熟紙を抱けり、早速取消すべし(愛讀者の一人、百五十名代表者)▽御注意下すつて誠に有難う御座います。丞極尤もの御説と存じます。今後もどうぞ御氣付の際は御申越下さるやうに願ひます(記者)

奥村五百子詳傳

前號にも一寸申上げて置きましたが、今度本社から發賣した奥村刀自の傳記は、一方から見れば婦人の立志篇とも成功談とも申せますから、家庭には必ず備へて置かねばならぬ良書で御座います。又一方から申せば、奥村刀自の行動は常に愛國婦人會の創設經營活動に伴ふて居ますから、これを讀むと愛國婦人會の歷史及將來に關する方針なども、よく判りますから、苟しくも愛國婦人會の會員の方々には、缺くべからざる參考書であると存じます。

斯く一擧兩得の良書ですから、まだ御求めにならぬ方は至急御申込下さいませ。最早殘部も極く僅かで御座いますから、其御つもりて願ひます。定價は金五十錢郵稅は金八錢併せて金五十八錢で御座います。奇麗な寫眞も澤山載つて居て、文章は判り易すくどなたにても讀めるやうに書いてあります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句

内藤鳴雪大人選

天　岡山　菅　昌子
春の山都に向きて暮れに鳧

地　紀伊　中橋多麻子
黄昏の窓三尺や白つゝじ

人　東京　土井　末子
松風の中より出たり夏の月

秀逸

春雨に面白うとぶ燕かな　東京　小山　季茂
鞦韆や草吹く風の柔らかき　韓國　永見田鶴子
太鼓の堂ゟ降り來る牡丹哉　同上　同　人
原句、太鼓堂ゟ降りて來る——
青空をフワリ／＼と鯉のぼり　静岡　安永みち子
原句、初句「空中を」
爐塞て響ひく夜半の淋しさよ　備後　世羅　龜子
原句、響きく夜半やいと淋し
鶯に枕を蹴て起きにけり　茨城　笠間　桂子
原句、枕蹴られて起ちにけり
雨に散る花うつくしや傘の上　東京　高橋　珍子
老人の昔話も日永かな　東京　柿沼　菊子
端居して對す碁盤に櫻ちる　京都　渡邊　豊子
原句、二句『圍資碁盤に』
賤の女が踊る野邊や月おぼろ　鹿兒島　藤野錠子
原句、二句『踊る畦道』
菊根分して雨を聞く一日かな　東京　松田　貢子
原句、二句『心地よき』
春雨に危ふき崖の躑躅かな　東京　中山　由子
歌百首暮ゆく春をおくり鳧　岩代　長谷川吉野
長閑さに雀の宿を訪ねけり　三重　西山　數子
引鶴を太平洋に我は見き　同上　西山ひさゑ
さいたづま折るや草履ににじむ水　同　人
行春や庭の床几に鳥の糞　東京　赤澤　英子
鍍寶日蓮堂に休みけり　甲斐　中島　錐子
かついても倚地に曳くや藤の花　同　人
夕照や金波の中に汐干潟　函館　那嘉野學子
花吹雪一騎遅れて來りけり　東京　栗原　花園
原句、『遅れて着にけり』
日和かな窓あけて見る川柳　下野　黒須　輝子
鶏とぶ春の夕や星一つ　廣島　金原なを子
原句、『夕暮れ空に』
春雨に袖笠で來る女かな　東京　飯田龍泉子
原句、結句『女客』
木の蔭に四五本長きわらひ哉　山口　鷹田　眞子
遊月に迎ふ夜風や梅かなる　東京　齋藤さた子

欄干に坐蒲團干しぬ春のくれ　岡山　西村　具子
ふく風に青葉匂て閑古鳥　東京　鈴木　桑子
絹を張る庭にも花の雫かな　東京　彦坂たき子
原句、『絹糊はる』

第八十三回　文苑募集

和歌　夏季雜題　大口　鯛二大人選評
俳句　夏季雜題　内藤　鳴雪大人選評
新體詩　題隨意　編輯局　同人選評
短文　題隨意　編輯局　同人選評

△地方的料理法△一口噺讀者闕等投寄を歡迎す。
△注意　應募原稿には、見やすき處に、和歌とか俳句とか、其種類を明記せられたし。
△短文は其名の如く、なるべく短くて面白きやうに書かれたし。長きも十行以上に渉るべからず、短きは十字二十字にてもよろし。
△記事の都合にて、文苑募集の廣告を掲載せざる事あるべきも、配慮に及ばず寄稿せらるべし。
△次號への投稿は六月五日に締切り廿日の誌上にて發表、賞品は十日以内に送付す。

附品概要
金銀時計類及附屬品、眼鏡類
寶石入指環、金銀盃
茶器類、洋食器、七寶花瓶
貴金屬美術裝飾品　各種

大勝堂
東京銀座通尾張町
電話新橋二二六四番

院長診察月、水、金、午前、松田醫學士診察火、土午前、駒者施診火、木午前入院診斷後隨時應需
松田、林、兩副長ハ目下當院ニ在勤、
電話本局八八八（病院用）八九八（私宅用）

東洋内科醫院
東京市神田區駿河臺鈴木町二番地（御茶水橋畔）

院長　醫學士　高田耕安
神奈川相州高座郡茅ヶ崎村濱（停車場所在）

南湖院
河野、中村、兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後○同時駒者施診
副長診察月、火、水、木、金、土午前○入院診斷隨時應需○

院長　醫學博士　榊　順次郎　婦人科産科　毎日午前診察
副　醫學士　久保徳太郎　婦人科的外科　外國留學中
副　醫學士　田代　謹二　婦人生殖器病　泌尿器病及内科一般　火木土午後診察
●施診火木土自午後一時至二時
麴町區三番町三三（電話番町三九五）

婦人科産科　榊病院

内科専門　杏雲堂醫院
神田區駿河臺　電本一六六九
院長醫學博士　佐々木政吉

肺炎に罹りたる後スコット乳菓を用て健全となりたる例證

愚息儀肺炎に罹り滿三ヶ月間伏蓐罷在り萬一回復するも結局は肺結核となるべしとの事にて總身肉落ち骨顯れ見るも不憫の容体と相成申候然るに醫師の勸告に由りスコット乳菓を服用せしめ候處未だ一罎も飲み盡さゞるに食慾大に進み總ての經過良好となり現今にては却て罹病前の何れの時よりも健全にて相替らずスコット乳菓を嗜好致候拙者共はスコット乳菓が愚息に與へたる好果を觀て右愚息の平癒を以て全くスコット乳菓の効驗の致す所と確認致候

Always get the Emulsion with this mark—the Fishman—the mark of the "Scott" process!

千九百六年三月十一日

シーフチルド、ドールセット街六拾二番地
ジョン、イー、ブレーキー

右快復の理由

右ジャッキー、ブレーキー、が肺結核とならずして快復したるは全くスコット乳菓中に含有する優逸なるロフオテン大口魚肝油（最上等にして最高價なる肝油）が其肺臓を癒やし其全身に良好堅靭なる筋肉を造成せしむるの精力を有したるが爲めなり

他のありふれたる大口魚肝油乳菓は斯くスコット獨得の完全なる製法に由りて充分に消化し易くせられたる最も純良にして最も活力に富める肝油にて製せられたるものに非らざるが故に斯の如き偉功を奏する能はず

包裝の大口魚を負へる漁夫は前述の如き驚くべき快復が唯偶然のことに非らずして確實の事實なることを保證す

東京新橋角
帝國博品館
デンワ新バシ　一六五二　二二六三

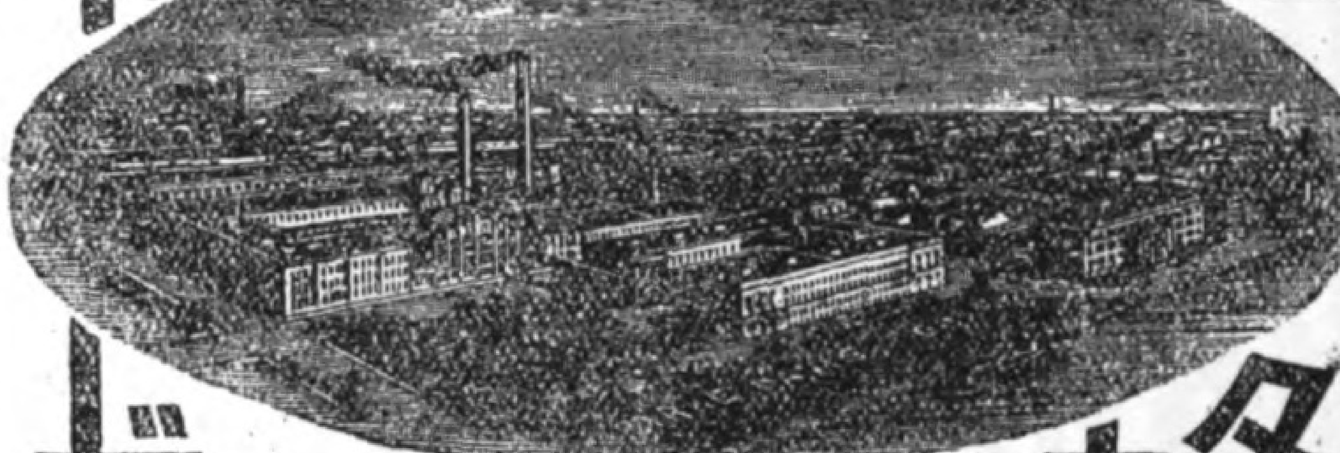
金銀盃類

貴金屬寶石美術品袋物一切何品に依らず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度奉願上候

宮内省御用達
玉寶堂
電話下谷（特九六五番）（一二四四番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

TAKA-DIASTASE



タカヂアスターゼ

世界最大の製藥工場

高峯氏發見消化新劑

パークデビス社は完全なる設備を有する世界最大の製藥會社にして、上圖は其デトロイトに於ける本社工場の全景なり。此他同社は加奈陀及英國に同一規模の分工場を有し、世界の醫家が要求せらるゝ總ての醫藥品を製造す。

タカヂアスターゼはパークデビス社の製品なり。完備せる裝置の下に熟練なる技術者に依り、製出せらるゝ本劑は品質純良、毎瓶强度均一にして、又其効力永久不變なり。

醫師及藥舖諸彥！模造品製造者の誇大なる虛僞的廣告に誤らるゝ勿れ、世上本劑以上實驗の報告なきは歐米及吾多數醫學大家の必ずや確認せらるべし、需用者は必ず高峯氏タカヂアスターゼと指定せられよ、本劑は粉末錠劑水劑の三種として發賣せり各地藥舖にて販賣す

代理店　東京南茅場町　三共藥品合資會社

本品は畏れ多くも

常宮殿下

周宮殿下

富美宮殿下

泰宮殿下

御使用品

高等香油

チエリーオイル

紳士貴婦人令嬢用

千九百七年武巴里流行

乳狀薄化粧料

フエスクリーム

珍らしい新輸入品

最も日本婦人に適し皮膚の營養滑澤に實効ある

佛蘭西新式煉白粉代用品

本品は顏を洗ひ乾きたる後少量を萬遍なくぬり摩擦すれば實に得も云へぬなめらかによきつやを出し香氣よくあれを防ぎ白粉やけ皺のよる憂なし又ゑりの汚れることなき嶄新良好なる薄化粧料として紳士貴婦人間に高評あり

定價一瓶三十五錢全國到る所の賣藥小間物化粧品店にあり

東京市日本橋區本町二丁目　チエリーオイル本舖

發賣元　高橋初次郎

振替貯金口座一〇九三二番　電話長本局四一一三番

午前宅診午後往診　入院隨時

内山小兒科醫院

淺草區下平右衛門町十七番地　柳橋通り(電下一二三六五)

神田區西今川町三番地(電話本局三〇一九)

内科病特に腦脊髓神經疾患

峰内科醫院

院長ドクトル　メヂチーネル　峰秀世

御婦人方の最も嗜好する芳香を配合せし摸範香水

麝香獸印　大瓶壹圓　中瓶六十錢　小瓶二十五錢

ムスク香水

●芳香の永く保つ點にて高評也

(注意)近來類似品を販賣する者あれば御買求の節は右瓶の形狀及び二頭の麝香獸に御注意を乞ふ市内賣藥小間物化粧品店に於て販賣致し居り候

東京日本橋本石町四

松澤常吉

胃病良藥　太田胃散

ラクダ石鹸

本品は高貴なる麝香に愛すべき「スミレ」の香料を多量に含むが故壹度使用せば其香氣五日間馥郁としてかほりを失はざる一大特點を有す

定價(大形金廿錢　小形金拾錢)

東京日本橋區本石町三丁目芳香藥種商屋　本舖井上太兵衛

東京神田美土代町三丁目十九番地

内科一般　午前宅診午後往診

板垣亨

電話本局貳千九百七十番

小兒病診療　宅診午前往診午後

淺草區福井町貳番地

醫學士　内田愼太郎

電話下谷七一八番

齒科治療

ドクトル　齋藤清太郎

麴町有樂町帝國ホテル向(電本千五百十九)

THE GEM

ゼム

衛生家必携　懐中良藥

愛の婦人

天の愛　土の愛　國の愛　母の愛

愛に生く日本の　婦人こそ尊けれ

願くは躬親ら　先づ愛し健かに

睃かに愛の道　光もて世を看ませ

婦人こそ國の花

「ゼム」の玉少し宛

常日頃含まして

永遠に香ひませ

「ゼム」は頭痛逆上眩暈氣欝を治し舟車の酔を防ぎ、消化を好くして食慾を進め、音聲を美にし、氣分を快くす。殊に馥郁たる芳香人を喜ばしむるを以て、交際界の婦人に愛用せらる。

定價　百粒入七十錢　廿粒入十五錢　壹圓入百四十錢　容器入廿粒入十五錢　六十九錢

東京　愛國堂　大阪高崎兄弟　京山崎商會　馬喰町二丁目　橋二丁目三郎

女子正則英語學校　生徒募集

補欠生募集願書至急を要す規則二錢送れ

神田錦町三の一警察向

女子正則英語學校

産科婦人科專門

診察毎日午前　入院隨時

淺草區左衛門河岸

電話下谷一〇二八

岩田病院

耳鼻咽喉病診療

入院應需

淺草區向柳原町一丁目二番地左衛門橋通り

中村醫院

電話下谷壹壹三〇番

◯院長ドクトル

京橋卅間堀一丁目角(電話新橋二六七〇番)

婦人科産科

木村順吉

木村病院

内科外科産科　婦人科耳鼻科咽喉　皮膚科梅毒泌尿器科

各專門分擔

東京病院

芝愛宕町　電話新橋(一三六四)(二六二〇)

院長　醫學博士　男爵高木兼寛

芝明舟町十九虎門外宮前

電話新橋三三二四

婦人病專門

院長　櫻井克己

櫻井醫院

京橋區南大工町三

電話本局二四〇一

(火木土)院長醫學博士岡田榮吉

(月水金)副院長醫學士久野正太郎

岡田病院

院長醫學士　鳥山南壽次郎

午前診察　午後往診

京橋區鎗屋町十一番地

電話新橋千七百四十六番

鳥山内科院

外科

午後往診　夜間診療

本郷區元町一の十四(淨水地西南隅)

醫學士　三原新太郎

婦人科專門　小兒科

午前宅診　午後往診

東京市麴町區飯田町四丁目九

女醫鷲山彌生

ライオン歯磨には家庭用として大袋入あり

ライオン歯磨は大袋入は容器及び外装等の費用を省き其量を多くし價格の廉なる極めて經濟的製品なれば家庭用として多人數の御使用には最も御德用なり

ライオン歯磨

殊に本品は堅固の二重袋入なれは外氣の浸入を防ぎ香氣の發散する憂なく御保存に便なり

到る處の藥舖小間物化粧品店等にて販賣せり

發賣元　東京 大阪　小林富次郎

◎寶丹は原『コレラ病』の豫防藥として發賣せし良劑にして◎中暑◎霍亂◎痢病◎吐瀉症◎中毒◎心腹痛其他の諸症に大効を奏し普く世人の賞用せらるゝところ今また左の如く新たなる効驗は發見せられたり

日本體育會より御信書の附言

御專賣の**寶丹**は殺菌力強く且つ細胞の活動を喚起するの**肺病**の豫防にも適劑なるとを効あるを以て確め候間乍序申添候云々

故に寶丹は軍隊・學校・集會・宴席・寄席等は勿論家庭衞生の常備藥として缺べからざる良劑也

◎本年四月十五日より寶丹御愛用諸君の御便利を圖り定價金參拾錢以上に限り美術優雅の匙を相添へ差上候間何卒一層の御愛顧偏に奉希上候

東京池之端仲町貳拾七號所有地

寶丹本舖　守田治兵衞謹告

會員募集

大日本文明協會

詳細は愛國婦人第百五十二號誌上にあり。

京橋區南鍋町一ノ二　大日本文明協會事務所

言葉使ひに最も注意する最良少女雜誌

少女の友

▲村井弦齋氏が美麗第一有益第一 面白さと第一と評されし少女雜誌を見よ

◎五月一日發行 ●第一卷第四號 一冊十錢郵稅一錢 六冊郵稅共六十錢 十二冊一圓十六錢

◎少女に對する私の希望……東京高等女學校長 棚橋絢子

口繪 ▲北白川宮女王殿下 ▲棚橋先生の愛孫少女 ▲彩色畫花菖蒲其他 ▲百年前雛人形數枚 ◎懸賞繪探し

◎お庭蛙……水野浦子 ◎姉さんの百物語……小町 ◎深みどり……瀧澤素水 ◎森の魔……須磨子 ◎家庭の遊戯……桂子 ◎逝く春……長谷部湖雨

◎光ちやんの顔……峽水 ◎露子と武坊……夢二 ◎文ちやんの朝鮮行……晶子 ◎虎に救はれし少女……鳥峯 ◎上野動物園雜話……水裏

◎歷史小谷の方……白水 ◎レース編方二種……春子 ◎毒ある草花……田中貢一 ◎笑ひばなし ◎讀者作文歌

東京京橋南紺屋町十二　實業之日本社　振替貯金三二六番

家庭教育玩具と教育を兼ねた幼年繪草紙

繪ばなし

益々好評　五月五日發行 第五卷第五號 一冊六錢郵稅五厘 六冊共卅八錢 一年七十二錢

書報 ▲歷史かるた ▲ポンチ ▲夏出る蟲 ▲ハメ繪 ▲海の動物 ▲繪探し ▲遊戲

振替貯金三二六番　實業之日本社　全國賣捌書店

夏半ゑり新柄

其他見切物澤山取揃へ有之候

電話本局二千九百四十番

健康と經濟を望む婦人は必ず讀むべし

婦人世界臨時増刊

食物かゞみ

五月十日發行 三卷六號 一冊十五錢郵稅一錢五厘 六冊郵稅共九十錢 十二冊一圓七十五錢

△口繪 有馬伯爵家へ御降嫁ありし北白川宮女王殿下 〜〜其他美麗無比

◎食事の時に愼むべき禁條十一條…醫學士 生間正起
◎肥えた人と痩せた人の食物…鈴木ドクトル
◎姙婦産婦の飲食物…醫學士 伊庭秀榮
◎兩陛下の御膳部…齋藤鹿山
◎美味な料理を作る心得…村井弦齋
◎九十六歳我が母の飲食物…星常子
◎注意すべき小兒の飲食物…醫學博士 加藤照麿
◎病中と病後の食物…醫學博士 木村德衛
◎各地料理の特色 △東京の料理…八百善 △大阪の料理…九萬 △名古屋の料理…大又 △京都の料理…平野屋
◎料理秘訣…弦齋夫人 ◎歯の爲になる食物 ◎家庭料理と儉約…龜井 ◎魚類の見別け方
△懸賞當選 諸國名物料理 百三十種悉く珍奇

東京京橋南紺屋町　實業之日本社　振替貯金口座三二六番　各地賣捌書店

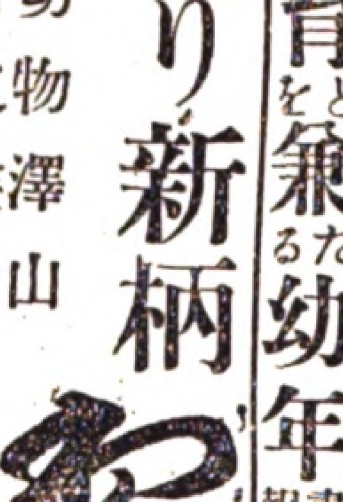
東京市日本橋區通三丁目

第一生命保險相互會社

電話 本局一三七三 本局一七三七

色白くつやをだす

松澤ホーサン石鹸



大形一個廿錢 小形一個十錢

(にせ物)あり右商標と松澤名義に注意

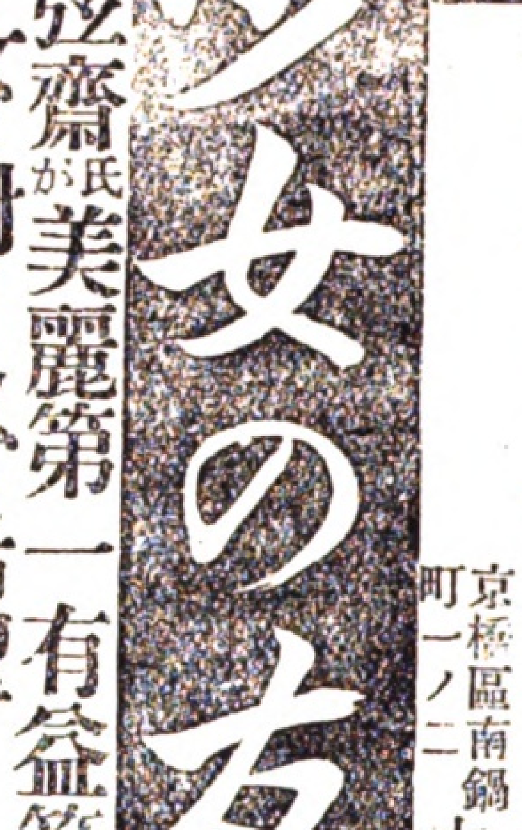
東京本石町四丁目 松澤常吉化粧品部

獨逸國ロールメヂシンス會社特製品

皮膚特効美白新劑

色を白くしにきびをとる

チプリ化粧液



小瓶三十グラム入 金貳拾五錢 送料四瓶迄八錢

◎本品は西暦千九百〇六年の發明にして常用せば肌を軟密にし自然白色艶麗の美顔たらしめ「ニキビ」「ハタケ」其他「顔ノアレ」等に最も奇効あり
◎効能顯著なる爲め印紙貼用せり化粧水にして貼用せるは本品を嚆矢とす
◎東京市内は勿論到る處の賣藥小間物化粧品店にあり品切れの節は送料八錢(一四瓶迄)相添へ本舖へ御注文あれば直送す

東京日本橋區本石町　日本一手販賣　**松澤常吉**

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱

京橋區數寄屋橋外 弘報堂
神田三河町 博報堂
京橋區南紺屋町 一星社
京橋區南鍋町 秀逸社
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋區箱崎町 春風舍
京橋區宗十郎町 正路喜舍
京橋區日吉町 帝國通信社
同區彌左衛門町 京華社支店
同區南鍋町 廣告社

洗用 ワッセル

ワッセルは油じみ汗あか如何なる汚れても採ずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります
◉用法は湯一升に二匁(小杯へ半分餘)の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシャツの如きは(拾貳号)入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髪は一匁五分を一升餘の湯に溶かし玉子で洗た樣になります又食器臺所道具の解き掃除にも有効です

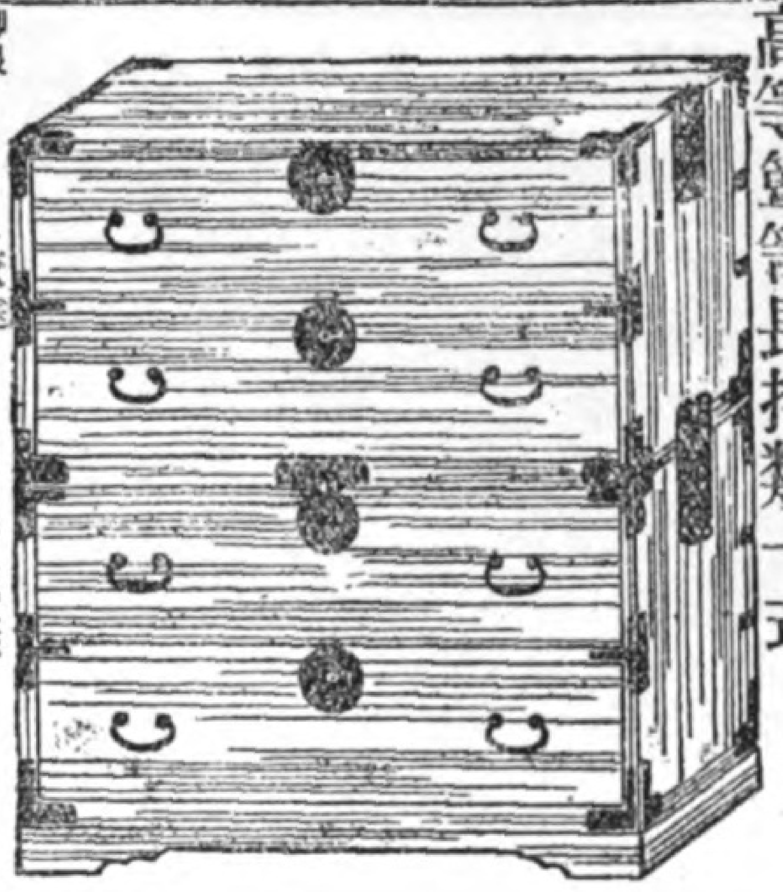
定價　拾貳号入 金拾五錢　六号入 金八錢　袋入二錢

英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌洗ひこ芳香ワッセル製造元
東京市京橋區三十間堀三丁目 電話新橋一七一二
三友商會

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話(特)本局六七三番
電話本局四九八番

定期預金　六ヶ月以上　年六分五厘
當座預金　百圓に付日歩　一錢
小口當座預金　同日歩　壹錢參厘

高等簞笥長持類一式

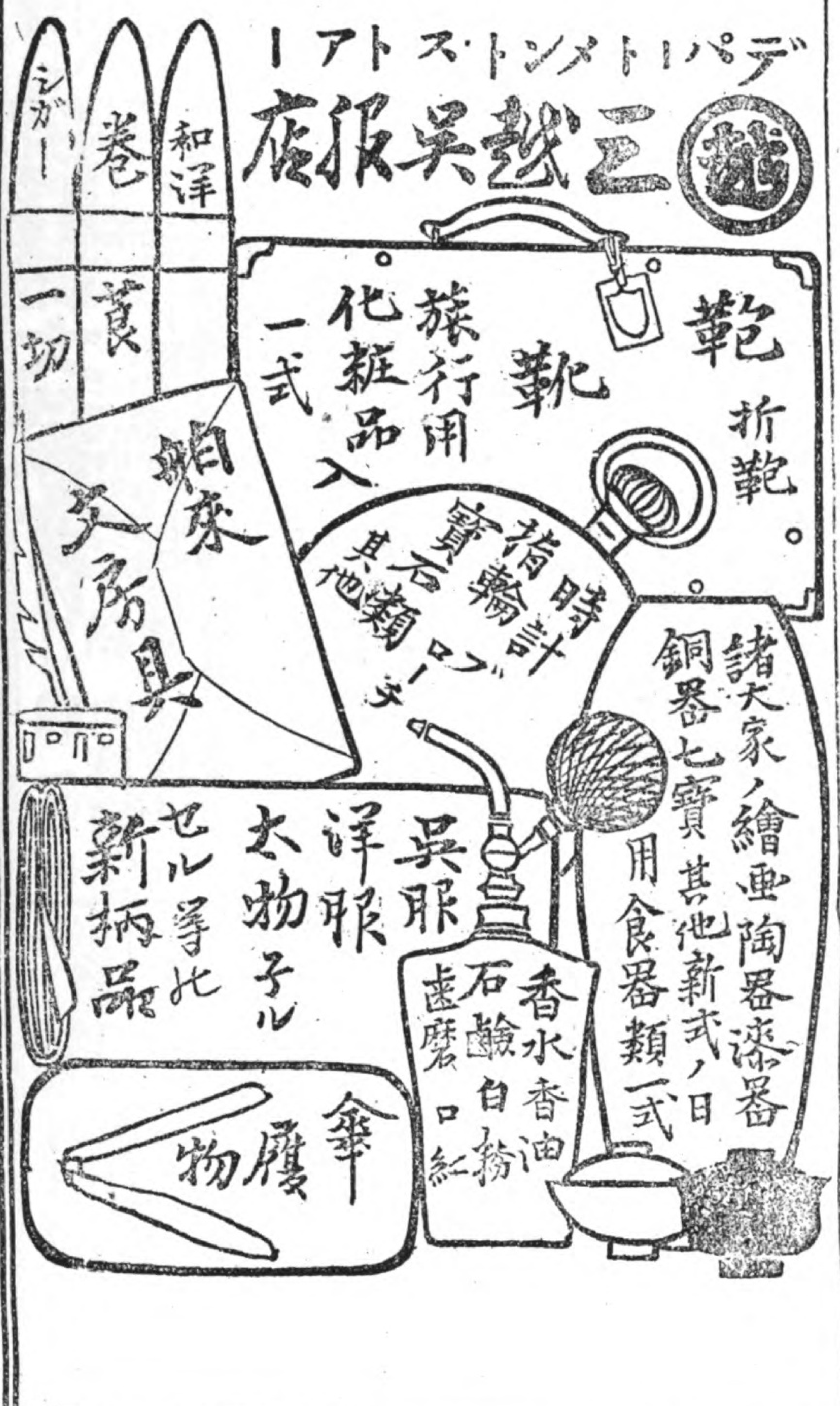


御報商品目錄送呈
蟲害除防法實施
東京市日本橋區小傳馬町一
長谷川簞笥店

電話浪花五百八十八番
玉川屋

山城國宇治田原郷之口

雲祥軒
村田喜久次郎



一御琴三味線
一諸弓絃楽器
一附属品一式
音曲糸
菊屋總本店
電話本局二四四九番

新流行渋向き
月印五節入無双羽織紐
紳士用 九拾五錢 御婦人用 廿八錢 外數種
東京兩國藥研堀十九番地
冨屋糸店
電話浪花三九三二番

季節向流行新柄御半ゑり各種
東京日本橋區堺町通ふきや町
電話浪花千百七十七番

東洋高等女學校長　文學博士　村上專精先生著
▲定價四拾錢 郵税六錢

家庭學生良妻賢母之好讀本

女性訓

本書の内容は、天職、中庸、質素、謙讓、節操の五訓を以て女子座右の箴言となすにあり多年女子敎育に經驗を重ねたる村上博士はよく女性の欠缺を攫み來りて之を訓誡すその親切實に至れり盡せり凡そ世の淑女たらむと欲する者は必ず其の座右を離すべからざる珍書なりとす。

村上專精氏著　自信錄　定價五拾錢(六版)郵税八錢
▲村上專精氏著　誠のしるべ　定價四拾錢(新刊)郵税六錢

東京小石川原町六番(振替貯金一三五三)
鷄聲堂書店
東京京橋築地二ノ卅(振替貯金三九六〇)
山中孝之助

明治四十一年五月廿日發行(每月五日廿日二回)
(定價金三錢五厘一ヶ月七錢郵税不要)
廣告料一行金六拾錢
發行兼印刷人 編輯人 山澤俊夫
持德一
發行所 東京麴町區飯田町 愛國婦人發行所
發賣所 同 京橋區南鍋町 株式會社隆文館
印刷所 東京牛込區市ヶ谷加賀町 秀英舍工場

附錄 愛國婦人會記事

愛國婦人會記事

□台臨　總裁殿下には本月十九日開催の福島支部總會へ台臨の爲、岩倉會長、藤井評議員を隨へ、十七日午前七時上野驛を御出發あらせられたり。

□山階宮殿下薨去　山階宮殿下薨去あらせられたるにより、本月四日東郷評議員本會を代表して參邸の上、御悔申上たり。猶ほ七日午後一時御出棺、豐島岡皇族墓地に於ける御葬儀に會葬せる職員左の如し。

板垣絹子、東郷鐵子、阪井春子、關郁子、岩佐千賀子、鳩山春子、早川里子、江木仲子、松崎悅子、佐藤猶子、以上評議員十名及東京支部幹事六名等

□酒井評議員逝去　本月四日阿部評議員本會を代表して弔詞を持參す、猶八日午後一時谷中齋場に於て、執行の葬儀へ會葬せる職員は

阿部評議員、跡見評議員、佐藤靜子代理及東京支部幹事五名

□弔問　大山理事、珍田評議員の各令息には松島艦と共に去月卅日拂曉澎湖島に於て沈沒、逝去せられしを以て、七日午前十時弔詞を兩邸に贈る。

□弔慰　客月卅日馬公港碇泊の際、不慮の變災に因り、沈沒せる帝國軍艦松島號の、乘組員中多數の死者ありしに就て、其等の遺族を弔慰せん爲め、本會にては金壹千圓を寄贈せしに、海軍大臣より七日を以て左の挨拶ありたり。

拜啓陳者今回軍艦松島不慮ノ變災ニ遭遇シ乘員中多數ノ死者ヲ生シタルニ關シ深厚ナル同情ヲ寄セラレ且ツ弔慰金壹千圓御贈付相成候段御芳志ノ程感謝ニ堪ヘサル處ニ御座候則チ右金員ハ御厚情ニ副ヒ適當ノ方法ヲ案シ夫々分配方取計可申候間總裁殿下ヘモ可然御披露相成度、此段御挨拶旁得貴意候敬具

明治四十一年五月七日　海軍大臣男爵　齋藤　實

愛國婦人會長公爵夫人岩倉久子殿

□評議員會　本月の評議員會は來廿七日第四水曜日に開催す。

□見舞　十日早朝長野支部より電報を以て、火災の爲め縣廳全部燒失せる旨の報告に接し、會長より不取敢見舞の電報を發せり。

□委員招集　本月十一日午後二時より東京支部各區幹事部の委員を招集し、佐藤事務長代務より、第七回總會に對する諸般の囑托ありたり。

□遺族接待　靖國神社臨時大祭に際し、本會に於て參拜遺族を接待せる事は、既報の如くなるが、社殿に於て本會紀念品引替券を交付せる數は、五日に三百四十四、六日に百十四、合計四百五十八通なりき。

長野總會

時は本月三日午前十時、處は善光寺境内に隣れる御慶事紀念公園に程近き城山に添へる新設の府縣聯合共進會場第二陳列館。動ともすれば今か降るらしの空模樣の前夕とは打つて變りし上天氣。この上天氣の此の日此の處に長野支部第一回總會は開かれ、昨年以來各役員同心協力の結果事務の整理と共に增し來つた二萬近くの會員中の大多數は、遙々と台臨されし總裁殿下、臨席されし岩倉會長以下の一行を迎へまつらんとて、この日早朝より、此の會場へは群集し來つたのであつた。

第二鈴と共に君か代の吹奏洋々として起り總裁殿下台臨あるや一同最敬禮、大山支部長は進て殿下御前に職員名簿及會員表を捧呈、開會の詞を述べ。次て卅七八年戰役に關し　皇后陛下より賜はれる御令旨を奉讀。次て總裁殿下御自ら左の御諭旨を讀ませられたのである。

愛國婦人會長野支部は會員頓に加はり會務亦駸ひ並に其の第一回總會の式を擧ぐるに方り諸氏と新しく相見るは最も欣喜する處なり

惟ふに斯會の事業は近時年を逐ふて發展し其成蹟大に見るべきものありと雖も前途尙ほ遼遠なり諸氏愈々奮て會旨の擴張に努め以て其の目的を完成せんことを期せよ

大山支部長は左の如く奉答

本日愛國婦人會長野支部第一回總會を開催するに當り總裁殿下の御台臨を辱うし優渥の御令旨を賜はる洵に當支部の光榮にして會員の感激措く能はざる處なり自今以後同心協力愈奮勵し會勢の擴張と會務の整理に努め以て御令旨に副ひ奉らむことを期すべし謹て奉答す

次て岡田支部副長の會務及會計報告、更につゞいて岩倉會長は

今日茲に總裁殿下の御台臨を仰ぎ我が親愛する長野支部は第一回總會を開かる回顧すれは斯會の事業は明治卅四年に基礎を起し爾來姉妹方が熱誠奮勵せられし結果近時會員大に增加し此盛事を觀る久子の喜び何物か之れに如ん

然れども本會事業の目的を遂行し遺族廢兵救護の實を完うせんには前途尙ほ遼遠なりと云ふべし希くは會員姉妹の方に於ては不撓不屈の精神を以て愈々奮て本會事業の擴張に勉められ以て

總裁殿下の台旨に副ひ奉らるゝ所あらんことを一言以て祝詞となす

と祝辭朗讀、中村會員總代つゞいて祝辭朗讀。引き續き有功章を左記諸氏へ親授されたのである。（但授者氏名は紙面の都合にて次號に讓る）

次に殿下には廢兵總代及び遺族總代に特別御下賜金を授與、岩倉會長は慰問の辭を左の如く述べられ

本日此の總會を開くに方りまして總裁殿下より廢兵及び遺族の方々に對し殊に慰問せよとの仰せがありました依て聊か御話しを致します、あなた方は御國の爲め廢兵となり又は遺族となられたるものにて其の身上を察し申せば唯に落涙の外はござりませぬ。併しながら我國が今日の如く盛んになりましたのも全く廢兵又は戰死をなされし方々の御蔭と思ひますれば其の方々は御國人として無上の名譽を得られし譯にて却て喜ぶべき事と存じます願くはあなた方におかれましても殿下の深き思召の程を御體承なされまして自ら御慰めなさるやう偏に希望いたします

大山支部長閉會を報ずると共に殿下以下一行は君が代の奏樂聲裡に御退場、犀、千隈兩川を眼下に見下す城山館の茶話會場に向はせられた。

以上は當日次第の概略であるが、大山顧問、同支部長、副長、主事等を初め誠意熱心事に當たられ、殊に當地の模範學校とも云ふべき高等女學校へ台臨の際には、これを光榮とせる渡邊校長初め非常に努力せられたる事は、總裁殿下に措かせられても一入御滿足の御事と察し奉る

□次號には福島總會記事を掲載す

愛國婦人會會員女子人口比較表　明治四十一年四月末日現在

支部名	特別會員 終身	特別會員 年賦	特別會員 計	通常會員 終身	通常會員 年賦	通常會員 計	合計	三十六年末女子人口	女子人口百人ニ付會員比例	贊助員
石川	四七七	一、五一四	一、九九一	三五五	一九、二三五	一九、五九〇	二一、五八一	三八五、四七八	五、六〇	六七
山口	一五一	七八三	九三四	一、〇二二	二五、一四一	二六、一六三	二七、〇九七	五〇六、九二〇	五、三五	八
山形	一六八	八三八	一、〇〇六	六一〇	二一、二〇六	二一、八一六	二二、八二二	四五九、六一八	五、一九	一〇四
廣島	四一六	二、〇四九	二、四六五	九九九	三〇、六八八	三一、六八七	三四、一五二	七四六、六五五	四、五七	九
愛知	四七五	一、一一二	一、五八七	一、八〇二	三四、三四八	三六、一五〇	三七、七三七	八六八、五五八	四、三七	八七
福岡	三〇三	二、四七九	二、七八二	六七三	二九、七一五	三〇、三八八	三三、一七〇	七七二、七四五	四、二九	四
岡山	二三七	八八五	一、一二二	三七七	二二、八〇四	二三、一八一	二四、三〇三	五七七、二七二	四、二一	一二
兵庫	五四六	一、七四七	二、二九三	一、二四三	三三、三一七	三四、五六〇	三六、八五三	八九八、七五四	四、一二	一七
神奈川	三八六	一、三七二	一、七五八	七四〇	一七、二六〇	一八、〇〇〇	一九、七五八	四九九、六二五	三、九五	四二
島根	一一〇	三四〇	四五〇	三四五	一三、三四三	一三、六八八	一四、一三八	三六二、六三五	三、九〇	—
京都	四三三	二、一三一	二、五六四	五六〇	一六、八八七	一七、四四七	二〇、〇一一	五二〇、三九五	三、八五	二一
愛媛	八九	四六四	五五三	二九四	一八、五一三	一八、八〇七	一九、三六〇	五一一、三九六	三、七九	四七
富山	一二三	九二四	一、〇四七	一七六	一三、一五八	一三、三三四	一四、三八一	三八四、七八二	三、七四	—
北海道及函館	三七二	二、八九三	三、二六五	四七五	一四、九一一	一五、三八六	一八、六五一	五〇七、六二八	三、六七	六三
熊本	二七八	二、六四二	二、九二〇	三九七	一八、三四二	一八、七三九	二一、六五九	六一〇、四一一	三、五五	一三
香川	二一四	六〇八	八二二	五一三	一〇、四一一	一〇、九二四	一一、七四六	三四七、八九〇	三、三八	—
青森	二〇〇	一、一八二	一、三八二	三六七	九、〇五〇	九、四一七	一〇、七九九	三二二、二一一	三、三五	一〇
群馬	二一四	一、二六八	一、四八二	一八八	一三、四八五	一三、六七三	一五、一五五	四五四、一七一	三、三四	二
秋田	二二三	六一〇	八三三	四二八	一五、一五三	一五、五八一	一六、四一四	四九三、九四六	三、三二	五
宮崎	七八	三二八	四〇六	一五七	七、五六二	七、七一九	八、一二五	二四七、二五五	三、二九	一九
長崎	一、三五九	二、二一八	三、五七七	一、一二五	一〇、五三七	一一、六六二	一五、二三九	四八九、五五〇	三、一一	二
佐賀	一二八	七八一	九〇九	一三〇	八、七六一	八、八九一	九、八〇〇	三二七、六七八	三、〇〇	二
福井	八六	七五五	八四一	一四〇	八、〇四七	八、一八七	九、〇二八	三二〇、一五四	二、八二	二
大分	一二三	七四二	八六五	二六七	一〇、九一八	一一、一八五	一二、〇五〇	四三〇、〇二五	二、八〇	五
宮城	一九五	一、二七二	一、四六七	二〇五	一〇、二八九	一〇、四九四	一一、九六一	四四五、〇四七	二、六九	一三
栃木	一四九	七〇五	八五四	三七五	一〇、七二〇	一一、〇九五	一一、九四九	四五〇、一二六	二、六五	七
三重	一一一	三四三	四五四	五二二	一二、七九七	一三、三一九	一三、七七三	五二二、〇四五	二、六四	六九
長野	一八一	一、〇一九	一、二〇〇	八四八	一四、六三五	一五、四八三	一六、六八三	六七四、七一五	二、四七	二一
大阪	五八七	二、八四一	三、四二八	七九八	一六、〇七五	一六、八七三	二〇、三〇一	八六三、四〇五	二、三五	五四
奈良	三六	二五三	二八九	一五九	六、〇二三	六、一八二	六、四七一	二七八、一九一	二、三三	—
岩手	七二	五九〇	六六二	一七一	七、五五八	七、七二九	八、三九一	三六九、二七八	二、二七	一
德島	七八	二七九	三五七	三七二	七、二二五	七、五九七	七、九五四	三五二、六〇八	二、二六	五
東京	一、五四六	七、四五七	八、七八五	一、〇六〇	一六、二八二	一七、三四二	二六、一二七	一、一五七、五一四	二、二六	六五
福島	二六二	一、〇四四	一、三〇六	六〇〇	一〇、九九六	一一、五九六	一二、九〇二	五八二、一五六	二、二一	一
靜岡	一四二	五六五	七〇七	六九〇	一二、一九二	一二、八八二	一三、五八九	六四〇、八四八	二、一二	二一
高知	五八	二一九	二七七	二二二	六、一三七	六、三五九	六、六三六	三一八、二四五	二、〇八	—
滋賀	一一六	五三六	六五二	五〇三	五、八五四	六、三五六	七、〇〇八	三七六、六八八	一、八六	—
千葉	一七三	八五五	一、〇二八	四七一	一〇、六五〇	一一、一二一	一二、一四九	六五〇、七八二	一、八五	二八
茨城	六七	四六六	五三三	二五二	九、〇五七	九、三〇九	九、八四二	六〇〇、四五五	一、六四	一
鳥取	三六	一七一	二〇七	七一	三、二六八	三、三三九	三、五四六	二一七、五四一	一、六三	五
山梨	五九	三三八	三九七	一八五	五、八一九	六、〇〇四	六、四〇一	二七五、一四八	一、六二	—
埼玉	八三	二九六	三七九	四〇五	九、二九九	九、七〇四	一〇、〇八三	六二七、五五六	一、六一	五八
新潟	二七一	九二八	一、一九九	七一七	一二、五二五	一三、二四二	一四、四四一	八九九、〇三一	一、六一	六四
和歌山	五八	二五五	三一三	一九八	四、〇九三	四、二九一	四、六〇四	三五〇、〇六九	一、五二	一
鹿兒島	二二六	一、〇八四	一、三一〇	一八二	六、三〇五	六、四八七	七、七九七	五九四、九八五	一、二九	八
岐阜	九九	七〇三	八〇二	一七七	四、四六〇	四、六三七	五、四三九	五〇二、六五八	一、〇八	一
臺灣	七三七	六五一	一、三八八	二、七八三	九、八四七	一二、六三〇	一四、〇一八	一、四〇二、七七一	一、〇〇	二五
沖縄	四二	三一一	三五三	四五	一、七四八	一、七九三	二、一四六	二三五、九三七	〇、九〇	—
海外	—	七六〇	七六〇	—	四一〇	四一〇	一、一七〇	—	—	二、六一九
計	一二、一五三	五四、四六六	六六、六一九	二五、四〇九	六三二、〇三〇	六五七、四三九	七二四、〇五八	二五、三二一、〇四〇	二、八六	三、六六一

備考（一）支部の配列は會員比例數の最も多きものより順次配列す

（二）北海道及函館の兩支部會員數は合算して揭載せり而して函館支部會員數は特別五百十二人（終身六十一人年賦四百五十一人）通常千八百十一人（終身七十六人年賦千七百三十五人）にして他は北海道支部會員數なり

（三）海外の分は報告未達に付終身會員並に年賦會員の區別を爲す事能はず暫く從前の報告を以て填補せり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支部記事

▽東京支部近況▽

□麻布區幹事部 にては戰死軍人の遺族及癈兵に對する救濟基金を充實せんが爲め、本月九日及十日の兩日間、東京癈兵院娛樂室(豐多摩郡澁谷村)に於て、慈善演藝會を開き、頗る好成績を得たり。今其概況を述ぶれば、兩日とも正午十二時より開會、△幹事部評議員兼主任幹事丹羽富子爵夫人の開會の辭に次て、松林伯鶴の講談、那須踏直の薩摩琵琶、淸國人李彭の手品、某令孃のヴァイオリン、ピアノ合奏、一心亭辰雄の浪花節及長唄等、頗大に催され、閉會せしは午後五時頃なりき。

▽函館支部近況▽

□遺族接待概況 本月六日函館招魂社祭典舉行に付社前に紅白餅を奉納し、同社前通り梁田治三郎邸內に遺族參拜者の休憩所を設け、茶菓を供し折詰紅白餅を贈與せり。此日遺族及同伴者共會する者百余名にして俄遺族を慰する爲音樂隊をして奏樂せしむ、當日職員は一同出席斡旋の勞を執り聊か慰藉の微意を表したるを以て孰れも滿足の意を表せり。

▽靜岡支部近況▽

□顧問會議 五月一日午後四時より郡市長會議の爲め出縣中なる各郡市幹事部顧問を招待して、總會並に會務上の協議をなせり。當日出席者は李家支部長、李家仝顧問、畠谷、野崎の兩副長、田中主事、安倍郡、靜岡市幹事部長並に靜岡市幹事等にして、撮影餘興の催ありて午後十時閉會せり。

▽宮城支部近況▽

□篤志婦人の死去 志田郡三本木町新澤順吉氏の母堂ひろよ子死去せるに付葬儀を同町悲願寺に營めるが會葬者無慮千餘名赤十字社田邊支部長愛國婦人會岩淵古川支部長同岩淵三本木支部長藤田三本木町長七宮定之助氏等の弔詞弔電あり頗る盛葬なりしが同婦人は生前克く公共事業に盡し臨終の際遺命して同町小學校貧窮學童の學用品救濟基本金として金五十圓又悲願寺修繕基本として田地一反九畝二步を寄附せりと云ふ

▽新潟支部近況▽

縣下軍人遺族並に癈兵に對し愛國婦人會より左の通り救濟金を贈與されたり。

北蒲原郡	二十人	金百十四圓
中蒲原郡	十九人	金六十三圓
西蒲原郡	二人	金六圓
北魚沼郡	七人	金四十二圓
南魚沼郡	四人	金十八圓
刈羽郡	一人	金三圓
東頸城郡	六人	金二十一圓
中頸城郡	二十二人	金六十六圓
計	八十一人	金三百三十三圓

▽愛媛支部近況▽

□宇摩郡幹事部 宇摩郡幹事部總會を五月下旬開會する筈にて目下牧井幹事部長等は頻りに會員の增募中なりといふ

▽石川支部近況▽

□會員數 石川支部にては本春來事務の整理に從事すると共に一方會員を勸誘したる結果昨月末の現在會員數は左記の如く增加せりと

郡市	特別	通常	計
金澤	一〇〇八	二一六一	三一六九
江沼	一二三	二一四七	二二七〇
能美	一六四	三六六〇	三八二四
石川	一七〇	三五九一	三七六一
河北	一四四	二三一一	二四五五
羽咋	一〇九	一四七〇	一五八一
鹿島	一二一	一三二〇	一四四一
鳳至	一一二	一八一七	一九二八
珠洲	〇	一一一三	一一五三
計	一九九一	一九五九〇	二一五八一

▽岐阜支部近況▽

□愛國婦人會員現在數 三月末現在調査に係る縣下に於ける愛國婦人會員は特別會員八百名、通常會員四千六百三十六人合計五千四百三十六人、外に賛助員四百三十四人にして女子百人に對する會員五人強なり左に郡市別を示す

岐阜市	四百六十四人	稻葉郡	四百四人
羽島郡	三百九十一人	海津郡	百七人
養老郡	四百三十七人	不破郡	百二十三人
安八郡	九百五十七人	揖斐郡	六十一人
本巢郡	二百八十八人	山縣郡	百六十七人
武儀郡	二百十八人	郡上郡	二百三十六人
加茂郡	百十一人	可兒郡	二百四十二人
土岐郡	百八十六人	惠那郡	四百二十二人
益田郡	百八十二人	大野郡	三百二十二人
吉城郡	百二十五人		

▽熊本支部近況▽

□球磨郡幹事部 基金募集の目的にて尾藤新也氏を招聘し免田村、多良木村及び人吉町に於て氏が得意の日露爭戰を講演せり免田村は宇綱の角長報寺に於て去月十四日より十六日まで三日間午後一時より多良木村は仝地假席に於て十四日より、十六日まで午後七時より、人吉町は仝十七日より十九日まで同町定席に於て午後七時より開會したるに各地共婦人會幹事委員及び會員等は何れも寢食を忘れて熱心に斡旋し入場券の賣捌き又は癈兵及び戰病死者遺族の招待を專ら盡力したる結果各地の人氣頗る振ひ殊に多良木、免田の如きは尾藤氏の講演は今回が初めての事とて聽衆は豫想外の多數に上り三日間とも札止めの盛況を呈したるが尾藤氏の熱心なる戰爭談には聽衆いづれも感動し就中戰死者遺族の如きは感極まつて啼泣するを見受けたり尾藤氏は講演中恐しく愛國婦人會の主旨を述べ且つ金百五十圓を寄附して大いに婦人會の盛力を慫慂し尚ほ廿日、廿一日は人吉町在郷軍人團の依賴に依り引續き同町假席に於て開演せしに之亦た非常の盛況なりし由なり

▽岩手支部近況△

當支部に於ける最近調査の各郡市會員左の如し

郡市名	特別會員	通常會員	計	女子人口
盛岡	二八〇	一,〇三九	一,三一九	一八,四〇五
膽澤	五四	九四四	九九八	五一,六五八
氣仙	一二	七五四	七六六	二六,五八一
西磐井	四六	六七一	七一七	二五,六三四
上閉伊	六六	六五一	七一七	二八,一五七
江刺	二四	五五八	五八二	二五,三四〇
稗貫	五五	五四八	五八五	二五,一二五
東磐井	五〇	七一八	七四八	五六,五四八
紫波	二五	五二九	五五四	二三,五七六
下閉伊	二三	四三五	四五五	三二,〇五六
九戸	二〇	五七八	五九八	二九,八七四
岩手	四九	五〇五	五五二	三五,二五八
和賀	一九	五五一	五五〇	五〇,七九四
二戸	七	一五一	一五八	二一,〇七四
合計	六六九	七,七八八	八,四五七	五八三,八一二

東都支部遊說記

第四回廣告 其三(中郡遊說續)

富樫眞喜子

二月二十三日 加悅町油佐旅館を出發多數役員の見送を受け、與謝郡幹事部事務員伊藤氏と中郡峰山町に向ひたり、加悅町よりは小谷委員杉本幹事外一名郡境爛江迄見送らる、常吉村に到れば中郡幹事部事務員細江氏出迎待受けらる、共に余部村に着すれば、羽田幹事部長を初め、谷口慶瀨吉村森野の各役員待受けらる、直に峰山へと進みしが、道路所々に會員出迎はれたり、荻野旅館に入り、各役員に挨拶し、暫時對話したり、羽田郡長來訪本會擴張上に就き種々談話されたり、午後六時より羽田幹事部長、細江事務員同行、峰山町を距る一里餘の五箇村に赴きたり、羽田顧問、足立幹事(尼僧にして非常なる熱心家)は先着待受けらる、七時より小學校に於て開會、聽衆約四百余名、松本村長初め有志會員幹にせらる、開會を報ずるや、羽田幹事部長直に顧問の挨拶あり、次に自分講話し、終りに再び部長の勸誘演說あり、閉會を告げしは午後十一時なりき、夫れより一行は峰山町旅館に歸りしに、時針は十二時を指したりき、郡長幹事部長事務員の歸宅されしは翌午前一時なりき。

二月二十四日 元滿洲軍管理部長鷹原中佐は峰山在住と聞きしを以て、早朝同家を訪問し、先年滿洲にて非常なる厚遇を受けし謝を述べんものと準備しつゝあるうち、役員諸氏の來訪に接し種々談話しつゝあるうち、同中佐態々來宿され昔日の談に及び、席上一入の興を添へたり、午後一時より四光寺に於て開會、折惡しく午前中より風雨烈敷、爲めに來會者漸く三百余名を數へたり閉會を報ずるや、羽田幹事部長の挨拶あり、次に自分講話九時を以て終を告げ、諸郡長の演說あり、足立幹事亦本會に對する希望を述べ、五時半閉會したり、歸宿後夕飯を喫し、直に羽田幹事部長、岩崎幹事、細江事務員同行峰山町を距る約一里余の丹波村に到り會場なる小學校に着。來會者約三百余名、最初君が代の唱歌あり、羽田幹事部長の開會の辭に次て、自分例の如く講話し、後に足立幹事の勸誘的談話あり、終りに島御國の唱歌ありて會を閉づ、時正に十一時なりき當日非常に斡旋の盡勞を執られしは、神幹事(靜校の未亡人)、金谷助役其他の有志諸氏なりき、入會者も續々之れある模樣なり。

二月二十五日 午前九時旅舍出發、本日の行程は約六里にして、昨年の水害の爲め諸所險惡なる道路あり、意外に時間も費取らず、與謝郡宮津町辨輝樓に着せしは午後二時なりき、途中支部にて宮津町各役員數名の出迎を受けたり、田邊幹事部長伊東事務員の兩氏は旅舍にて待受けられ、出迎はれし幹事諸氏も後より來宿種々本會の擴張上につき將た故奧村刀自の像設につき快談を交ふ後明朝出發の準備を整へ一時就寢したり。

二月二十六日 午前六時宮津港出帆の汽船に乘ず海上靜穩、同八時舞鶴港へ着、同九時二十分同驛發の汽車に乘り、何鹿郡綾部町に向ひ、十時十分着驛、竹澤郡長、細幹事、大槻事務員出迎はれたり、花月亭に投ず。

何鹿郡遊說記

午後一時より同郡役所に到り幹事部長初め役員諸氏に面接したり、二時開會來會者約四百餘名、郡長の開會の辭に續て、自分講話五時半閉會せり、夫れより同所に於て郡長幹事三名事務員四名と晩餐を共にし、午後八時より同町端にある郡是製絲場に到り工女六百餘名其他の來會者約七百餘名に對し講話せり、最初社長波多野氏開會の趣旨を述べ、次に自分講話後郡長の閉會の辭あり、綾部町よりも幹事數名會員數十名出席されたり、閉會を告げしは十一時半なりき、夫れより旅館に歸り、竹澤郡長、細、沼田の兩幹事も共に來宿、種々對話翌午前一時歸宅されたり。

二月二十七日 午前七時半旅舍出發、竹澤郡長、細幹事、大槻事務員同行、綾部町を距る約三里余の口上林小學校母姉會に臨みたり、十時着、當日は天氣快晴來會者約五百餘名十一時開會、竹澤郡長の演說、自分の講話を了せしは午後二時なりき、急ぎ晝飯を喫し、直に腕車を驅りて此處より二里餘を距りたる山家村へと向ひしに、道路の惡しき所ありしを以て、同四時會場なる正曆寺に着したり、大志万幹事、西村助役待受けらる、聽衆約百余名着後直に開會、竹澤郡長開會の趣意を述へ、續て講話し閉會を告げしは、六時四十分なりき、自分は同村伏見屋に宿泊し、顧問一行は綾部町へ歸られたり、大志方幹事、西村助役、同行來宿されたり、大志方幹事と晩餐を共にし、談話を交へ居る中、青野村長並に幹事會員來訪十一時頃歸宅されたり。

二月二十八日 午前八時旅舍出發、北桑田郡大野村へと赴きたり、本日の行程は山路八里にして、殊に道路の險惡なること筆紙に盡すべからず、所々滿洲的の泥濘區を徒する所あり、爲に車も驅驅せず二人して昇ぎ居れり、午後二時小濵村に着、同村小學校に到れば小島郡視學先着待受けらる、細見同校長、梅津郡會議員等の希望にて、突然同村に於て講話會開催することゝなり、三時開會聽衆約百五十余名、當日は大野村にて開會の豫定なるも、前記の次第にて大野村よりも多數の會員在郷軍人總代二人同所迄迎ひに來られたり、閉會後一行は此等の人々と共に歩を二里運ばし山路を踰えて、大野村に着、役場員學校職員生徒の出迎を受け、自分は陸軍三等軍醫尾藤貼元氏方に入りたり、岸田顧問一行は尾藤旅舍に投ぜらる、夕飯を喫し直に會場なる小學校に到れば降雨をも厭はずして、來會する者盛を極し、時ならぬ奇觀を呈したり、定刻に至れば開會を報ず、來集者約八百余名(大人のみ)滿堂立錐の餘地なし、郡視學開會の辭を述べ、次に講話せしに、其靜肅なること恰も水を打ちたる如く、各員能く其意を了解したるもの丶如し、後郡長一場の訓話をなし、閉會を告げしは、十一時半なりき、來會者の中には三里餘の山坂を踰えて歸る者もあると聞き、其實意にして眞摯なること實に感に堪へたり、一行は尾藤方に歸り、暫時對話歸宿されたり。

本部記事 (一面より續く)

□評議員囑托 左の兩氏は今回總裁殿下より、評議員に御囑托あらせらる

有島幸子
大久保榮子

□評議員會 去る十五日午後一時より評議員會を開き、來廿三日開催の總會に關する件を議したり

△女德論叢の出版

不思議な懸賞附き「女德論叢」が出版さるゝ前號の廣告に對し續々申込みがある。そこで止むを得ず更に六月十日までに右「女德論叢」代金(郵稅共)三十錢を前金で送らるゝ方には此の懸賞に應ぜらるゝ特權のあること丶致しました。(發行所係員)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會第七回會員總會式次第書

第一鈴（午前十時三十分）

一、參列者入場

第二鈴

二、君ヶ代吹奏

皇后陛下臨御（一同最敬禮）

三、會長開會ノ辭

皇后陛下御令旨

四、總裁殿下奉答

五、總裁殿下有功章御親授

六、事務長會務並ニ會計報告（書類代用）

七、議事（書類代用）

第三鈴

八、君ヶ代吹奏

皇后陛下入御（一同最敬禮）

九、廢兵院及東京支部廢兵遺族特別金下賜

第四鈴

十、參列者退出

明治四十年度（歴年）愛國婦人會事務成績報告書

本會の主旨たる遺族廢兵の救護數は去る三十七八年戰役に於て夥しく其數を増加せしを以て其救護の實施方法を講ずると同時に本會の擴張を圖りつゝあり今や四十年度事務成績報告を爲すの期に當り節略に其の要を各項に區別し報告する事左の如し

○四月十八日偕行社に於て原内相及各支部顧問（各知事）招待會席上總裁殿下より左の御諭旨を賜ふ

本會事業に關しては年來諸氏の盡力と援助とに賴り擴張の效觀るべきものあるは智惠子の尤も欣喜する所なり然れども救護の實をして遺憾なからしめんことを期せんとせば素より容易の業にあらず幸ひ諸氏の出京に際し一堂に相見るの機を得聊か諸氏の勸勞を慰すると共に將來尚一層盡瘁の勞を執られんことを望む

○總會　本會第六回總會　五月十九日東京市青山練兵場内に於て開く總裁殿下御臺臨あらせられ御諭旨を賜ふ名譽會員東伏見宮、山階宮、久邇宮各妃殿下御臺臨あり參列者總數約一萬五千有餘人内東京支部に屬する廢兵遺族千六百三十九人にして最も靜肅に終了せり時の御諭旨左の如し

愛國婦人會第六回總會を開くに方り諸氏と親しく相見るは智惠子の最も喜ぶ所なり茲に時局に關して畏くも

皇后陛下より優渥なる令旨を辱ふす今や平和克復日を經るに從ふて益々同情を表すべき遺族廢兵ありて本會の責任一層重きを加ふ諸氏彌々奮勵上は

皇后陛下の　令旨に副ひ奉り下は本會主旨の貫徹に努力せられんことを望む

○支部總會に對し御諭旨を賜はりたるは兵庫、岡山、愛知、神奈川、山形、新潟、島根、埼玉、廣島、長崎、宮崎、の十一支部外に韓國委員本部なり其兵庫支部に賜はりたる御諭旨左の如し

愛國婦人會兵庫支部は會運益々隆盛に赴き會務亦大に整頓せり今茲に其第一回總會の式を擧くるに當り諸氏と親しく相見るは智惠子の誠に喜ふ所なり惟ふに本會の事業は年を逐ふて發展せしも其前途は倘ほ遼遠なり會員諸氏彌々精勵し以て會務の振暢に努め本會の主旨を遂せんことを望む（他は之を略す）

支部總會　本年中開催の各支部總會は左の如し

兵庫支部第一回總會　四月廿四日
總裁殿下御臺臨出席者約一萬人遺族廢兵約二千三百人

岡山支部第一回總會　四月廿六日
總裁殿下御臺臨出席者約五千百人遺族廢兵約千百五十人

京都支部第六回總會　四月廿八日
名譽會員賀陽宮妃殿下御臺臨あり出席者約二千人遺族廢兵約二百五十人

愛知支部第一回總會　四月廿九日
總裁殿下御臺臨出席者約二萬人遺族廢兵約三千八百人

神奈川支部第二回總會　五月十二日
總裁殿下御臺臨出席者約五千人遺族廢兵約九百八十人

山形支部第二回總會　五月廿八日
總裁殿下御臺臨出席者約三千七百人遺族廢兵約千人

新潟支部第一回總會　七月六日
總裁殿下御臺臨出席者約七千人遺族廢兵約千三百人

島根支部第一回總會　九月廿六日
總裁殿下御臺臨出席者約二千人遺族廢兵約五百人

同上濱田分會　十月二一日
古市評議員出張出席者約千人遺族廢兵約二百七十人

埼玉支部第一回總會　十月十三日
總裁殿下御臺臨出席者約二千三百人遺族廢兵約千三百人

韓國委員本部第一回總會　十一月十日
韓國皇后陛下御使を差遣はされ御下賜金あり出席者約四百人

廣島支部第一回總會　十一月廿四日
總裁殿下御臺臨出席者約一萬參千人遺族廢兵約千六百人

長崎支部第一回總會　十一月廿九日
總裁殿下御臺臨出席者約七千人遺族廢兵約五百人

宮崎支部第一回總會　十二月四日
阿部、片岡兩評議員出張出席者約三千二百人遺族廢兵約五百人

幹事部總會　愛媛支部北宇和島郡幹事部外二十四幹事部

○明治四十年十二月末日現在會員七十萬七千五百八十四人內拾四萬三千七百人（特別六千八百七人　通常六十三万六千八百九十三人）は本年の增加に係るものなり外に事故退會及除名したるもの五千六百七拾人死亡者三千八百四十四人なり之を各支部に分てる表は明治四十一年一月の愛國婦人にあり

○本會現在基本金五拾壹萬百七拾五圓餘にして其内金拾貳萬四千六百八拾五圓餘は本年中に增加したるもの其他の資金拾八萬五千參百五拾六圓餘也其他詳細は別項四十年度決算報告書に明か也此外に各支部に於ける現在基本金は總計拾七萬四千二百二十七圓餘にして其他現在資金三十五萬八千二百三十八圓餘とす基本金は本支部を通して絕對に支出を禁しあり

○本會の目的たる事業は廢兵遺族を援助救護するにあり之を援護するには現金給與と授產法とを以てす就中本部は授產事業を望むなれども此の事業たるや極めて難事なり其授產法には團體と個人の別あり蓋し都市の如きは團體的に法を設け得るも郡村に至りては個人法に據らざるべからず其他敎養法又は物品慰藉等千差萬別の手段あるも是れ皆支部の獎ぶ所に任し本部は只其方法の確否を監視し又支部彼是の緩急を鑑みて現金給與若くは事業の補助をなす

四十年度に於て本部支出の援護金は合計九萬七千七十圓八十九錢なり內個人現金に屬するもの金八萬七千五百四十一圓○敎育用品に屬するもの金三百五十圓○個人物品慰藉に屬するもの金三千百二十四圓六十七錢五厘○事業補助に屬するもの金六千五十五圓二十一錢五厘なり

各支部支出の援護金は合計五萬千七十四圓なり內個人現金に屬するもの金三萬四千八百六拾七圓○事業に屬するもの金壹萬六千貳百七圓なり

右本支部支出の援護金を總計すれは金拾四萬八千百四拾四圓八拾九錢にして明治三十四年本會設立以後の此の種に屬する總支出を計上すれば漸く金三拾七萬五百餘圓とす

授產事業　各支部の狀況を揭くれば東京は衣服足袋の裁縫大阪は衣服の裁縫三重は刺繡京都は經木眞田石川は麥稈眞田富山は絹手巾秋田は木通蔓細工岡山は幼兒保育（以上多くは試業中）其他神奈川（機織メリヤス等）島根（生產扶助）德島（手巾及衣服裁縫）の如きは現時計畫準備中にて未だ着手に至らず就中大阪の如きは規模立ちて女工亦熟せり又香川、福岡の如き十年の計畫をなし注意周到なり山口、香川の如き個人救護能く屆き居れり其他の支部に於ても成績良好なり

○規則設定及改正　本年中評議員會の決議に依り本會規則類の設定及改正を爲したるもの左の如し

一　本部規則中へ救護課の增置從つて本部事務細則中一部改正
一　廢兵院入院者中家族在京中希望に依り授產事業に從事せしむるの件
一　成績善良なる支部長へ物品（金時計）贈呈の件
一　全國失明廢兵へ點字盤贈與の件
一　寄附金取扱方の件
一　救護金各支部へ配當方の件
一　贊助員資格の件
一　本部旅費假規則中改正
一　本部給與內規中改正
一　總裁殿下支部總會へ御臺臨の際廢兵、遺族へ特別賜金の件
一　失明廢兵訓盲學校入學者には特別救護の件
一　臺灣支部副長以下の職員囑託並に解囑の權を支部長に委任の件
一　函館火災並に各地水害に付き臨時救護の件
一　孤兒敎養所設置の件
一　有功章謝狀贈與規則

愛國婦人會第七回會員總會入場者心得

一、會場　東京市青山練兵場内東南側（陸軍大學校の裏手）

二、開會日時　明治四十一年五月廿三日午前十時三十分

三、會場入口　青山北町と練兵場内との二ケ所にあり

四、入場者は遲くも同日午前十時迄に入場せらるべき事

五、來集道筋は青山通り櫻田原通り信濃町通り御隨意の事

六、入場は入口に於て入場券を示して入場し招待狀御持參の方は入口に於て招待狀御示しの上入場の事

七、式次第書は本紙第一欄に揭載しあり

八、會場內には本（本部職員）整（會場整理係）贈（紀念品贈與係）茶（茶菓係）等の文字ある櫻形の御徽章を胸間に附着せる職員あり不案內の事は此者に御尋あれ

九、會場雨覆は狹隘にて一般來會員を收容すること能はさるやも難計雨天のときは雨具御用意のこと

十、會場にて御携帶品を預る場所は設けさるに付各員御携帶のこと馬車人力車置場は會場入口外に設けあり

十一、會場中央に救護處を設けあり赤十字の旗を以て標す

十二、會場內は混雜に付可成乳兒は勿論小兒は御同伴無きを良とす

○本年中有功章贈與數左の如し

一　特別徽章　十八人
一　一等有功章　百五人
一　二等有功章　三百二十七人
一　三等有功章　千三百二十三人

○遊說員派遣　本年中遊說員野中彌知子を東京、山形、宮城、長野の各支部下、富樫眞喜子を大坂（二回）香川、富山、福井、石川、群馬、埼玉、愛知の各支部下に派遣し到る處好成績を收めたり

○本部職員支部出張　會長岩倉久子氏は兵庫、京都、岡山、愛知、神奈川、新潟、埼玉、廣島、長崎の各支部總會に理事岡部紙子氏は神奈川支部總會に理事谷玖滿子氏は埼玉支部總會に評議員有島幸子氏は京都、岡山、愛知、神奈川、函館の各支部總會に評議員二條洽子、板垣絹子、伊東美津子、長谷川辰子、高木富子、黑木百子、松平須磨子、濱尾作子、豐島文子、大藏松子、高木鎌子、宇佐川種子、柳谷千代子、福島貞子、坂井森子、三井照子、三井壽天子、三井五十子、佐藤溜子の諸氏は神奈川支部總會に評議員片岡たま子氏は神奈川、埼玉、廣島、宮崎の各支部總會に評議員長岡芳子氏は神奈川、山形の各支部總會に評議員內山訓子、中山幸子、藤井とく子の諸氏は神奈川埼玉の各支部總會に評議員澁谷知和子氏は新潟、神奈川の各支部總會に評議員千家俊子氏は島根、神奈川の各支部總會に評議員阿部篤子氏は廣島、宮崎の各支部總會に評議員近藤從子氏は埼玉支部總會に評議員波多野爲子氏は神奈川支部總會山形支部飽海郡幹事部總會に評議員古市幸子氏は島根、神奈川支部總會並に島根支部總會濱田分會島根支部邇摩郡幹事部總會に評議員原口關子氏は埼玉支部總會に評議員淸浦鍊子氏は神奈川支部總會に出張せり評議員淸浦鍊子氏は故奧村五百子氏の葬儀に喪主として京都へ出張せり

○一月廿四日韓國皇室御慶事に付本會より慶賀狀を奉呈し左の物品を獻上せり

衝立　壹個

○二月六日　本會主唱者奧村五百子氏は正七位に叙せられたり

○二月七日　本會主唱者奧村五百子氏は前年來病氣中の處京都病院に於て逝去せられたるを以て生前の功勞に依り本會の會葬として同月十日京都本願寺に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

於て葬儀を執行し又三月七日東京淺草本願寺に於て壯嚴なる追弔會を執行せり

○四月十六日　靖國神社大祭委員の依託を受け參拜遺族に頒與せらるべき軍用甘味一萬五千百三十包の包裝を爲したり

○五月二日より同五日迄四日間靖國神社臨時大祭に付參拜遺族接待所を牛ヶ淵靖國神社附屬地内に設け來集の遺族二萬三千五百十一名を接待せり又靖國神社大祭委員部に出張して其接待事務を援助せり

○五月廿三日より二日間各支部主事諮問會を本部に於て開く本會顧問伊東元帥清浦樞府岡部子爵臨場せられたり諮問會の主なる議題左の如し

一醵集金配當步合の件
一救護範圍及救護金配當の件
一會員月報の件
一支部規則中改正の件
其他略す

○五月二十五日　明治三十七八年戰役に際し本會の爲め盡力せられし本部支部職員會員幷に其他功勞者へ總裁殿下御肖像彫刻の紀念賞牌を贈與せり其數左の如し

一金牌　千二百五十二個
一銀牌　三千六百八拾八個
一銅牌　參万三千九百四拾四個
一木杯(三組杯)　四百四拾四組
一木杯(單杯)　九百〇壹個

○十月廿三日
皇太子殿下より本會韓國委員本部へ伊藤統監を經て御下賜金ありたり其御沙汰書左の如し

今般
皇太子殿下御來韓に際し會務擴張基金に充つる思召を以て金千圓下賜相成り候條克令旨を奉體し其效果を永遠に期すべき樣可相成此段申進候也

明治四十年十月廿三日
統監公爵　伊藤博文
愛國婦人會韓國本部長鶴原誠子殿

○十一月十日
韓國皇后陛下より本會韓國委員本部に於て第一回總會開催に際し御名代尹惠榮を式場に差遣はされ特に同部基本金として金貳千圓を下し賜はりたり

總會提出議案

評議員改選の議

一本會評議員任期滿了に付定款第十四條に依り本日の總會に於て改選相成ること

右評議員改選は本日の總會々場に於て多數投票を爲すことは混雜に付選拔權を會長に一任ありたし
尚ほ次回總會迄の間に於ける補缺選擧權をも會長に一任することに相成度し

贊助員出金額改正の議

一定款第十一條「五拾錢以上」とあるを「七圓以上」と改正し第廿七條中贊助員の下「にして金七圓以上を納めたるもの」の十五字を削除のこと

說明

右改正の意は五拾錢の出金を以て已に女子の本分を盡したるものと解釋し通常會員に加入者を減するときは會務擴張上影響不少且つ繁雜に失するに付本文の如く改正ありたし

副會長を設くる議

一定款第十八條中「會長一名」の次へ「副會長一名」の一行を加へ第十九條及第二十條中「會長」の下へ「副會長」の三字を加へ第二十一條中初項の次へ「副會長は常に會長を補佐す會長事故あるときは其職務を代理す」の一項を加ふる事

說明

右副會長を設くるは本會發展の爲め會務繁多なるを以て本文の如く設けられたし

前三項共若し御不同意なれば本日より三日以内に本部へ御申出相成度御申出なき方は御同意と見做し本議案を決行致し候事

明治四十年度愛國婦人會會計決算報告(四十一年四月十日調製)

○基本金之部

一金參拾八萬五千四百九拾圓八十參錢參厘　三十九年度より繰越高
一金貳千百四拾七圓八拾五錢五厘　寄附金
一金八萬五百參拾八圓壹錢六厘　規準外會費納金
一金八百七圓八拾貳錢　贊助金步合
一金四萬千百九拾壹圓四拾貳錢貳厘　收支勘定殘金組入
合計金五拾壹萬百七拾五圓九拾四錢六厘　四十一年度へ繰越

○用途指定寄附金之部

收入之部
一金四拾九圓五拾錢　卅九年度より繰越高
一金百五拾壹圓五拾錢　水害罹災廢兵遺族救護寄附金
合計金貳百壹圓

支出之部
一金四拾九圓五拾錢　第六回總會菓子代の內へ支出
一金百五拾壹圓五拾錢　水害罹災廢兵遺族救護金
合計金貳百壹圓

○收支勘定之部

收入之部
一金貳拾萬八千七拾八圓四拾七錢四厘　卅九年度より繰越高
一金拾四萬參千六百九圓九拾九錢四厘　會費收納高
此內譯
金拾四萬壹千七百貳拾九圓參拾錢四厘　規準以內會費各支部納金別表の通
金千八百八拾圓六拾九錢　海內外より直納
一金貳萬八千參拾七圓七拾八錢　雜收入
此內譯
金貳萬七千七百五拾貳圓五拾四錢　預金利子
金七拾四圓五拾貳錢　債券利子
金百七拾四圓貳拾六錢　徽章再渡代
金參拾六圓四拾六錢　雜收入
合計金參拾七万九千七百貳拾六圓貳拾四錢八厘　總收入高

支出之部
一金六千五百六拾貳圓六拾八錢　事務費
此內譯
金四千六百參拾八圓參拾錢　諸給
金四百貳拾四圓八錢　借地料
金百貳拾圓　廣告料
金五拾圓七錢　辨當料
金五拾壹圓拾參錢五厘　器具費
金參百四拾四圓拾五錢　筆紙墨費
金百四拾圓拾六錢五厘　郵便電信代
金百八拾五圓八拾九錢四厘　車馬費
金參百九拾壹圓壹錢壹厘　營繕費
金貳百拾七圓八拾七錢五厘　雜費
一金五萬七千六百參拾圓參拾四錢七厘　事業費
此內譯
金貳千四百八拾五圓拾九錢五厘　印刷費
金貳萬參百七拾八圓六拾貳錢　徽章製作費
金壹萬四千七百拾貳圓八拾七錢九厘　擴張諸費
金四千四百五拾四圓參拾參錢　總會費
金千參百五拾七圓六拾七錢　運送費
金參千拾五圓貳拾七錢五厘　靖國神社大祭接待費
金壹万千貳百貳拾六圓參拾七錢八厘　紀念賞品
一金八萬八千九百八拾五圓六拾壹錢五厘　救護金
此內譯
金六萬千百六拾六圓五拾錢　定期救護金
金貳萬五千八百七拾圓　特別救護金
金千九百四拾九圓拾壹錢五厘　臨時救護金
合計金拾五萬參千百七拾八圓六拾四錢貳厘　總支出高
外金四萬千百九拾壹圓四拾貳錢貳厘　剩餘金の內基本金へ組入
總計金拾九萬四千參百七十圓六錢四厘
差引金拾八萬五千參百五拾六圓拾八錢四厘　四十一年度へ繰越高

○四十年度末資產負債表

負債之部
一金五拾壹萬百七拾五圓九拾四錢六厘　基本金
金拾八萬五千參百五拾六圓拾八錢四厘　本年度剩餘金
合計金六拾九萬五千五百參拾貳圓拾參錢

資產之部
一金五拾六萬七千圓　銀行定期預金
此內譯
金九萬六千圓　森村銀行
金九萬八千圓　第三銀行
金九萬圓　拾五銀行
金七萬六千圓　日本興業銀行
金五萬圓　三井銀行
金壹萬圓　第一銀行
金七萬九千圓　浪速銀行
金六萬八千圓　加島銀行
一金拾壹萬參千四百拾圓貳錢　銀行當座預金
此內譯
金貳萬貳千六百貳拾八圓八錢　森村銀行
金貳萬七千五百拾七圓拾錢　第三銀行
金貳萬參千參百參拾貳圓五拾九錢　拾五銀行
金壹萬九千九百四拾六圓貳拾參錢　日本興業銀行
金壹萬九千九百八拾六圓貳錢　加島銀行
一金千四百圓七拾錢　公債證書
一金拾圓　貯蓄債券
一金六千四百六拾圓　所有家屋
一金五百四拾八圓四拾壹錢　什器
一金六千七百圓　貸金
一金參圓　現金
合計金六拾九萬五千五百參拾貳圓拾參錢

右之通候也
明治四十一年四月
愛國婦人會
會長公爵夫人　岩倉久子
理事　連名

右監査を遂け相違なきことを證す
監事公爵夫人　九條惠子
監事男爵夫人　三井苞子

明治四十年度會費收納內譯

支部名	規準以內步合(円)	規準以上步合(円)	計(円)
北海道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京都	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神奈川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
兵庫	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新潟	[illegible]	[illegible]	[illegible]
埼玉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
群馬	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千葉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
茨城	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栃木	[illegible]	[illegible]	[illegible]
奈良	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	[illegible]	[illegible]	[illegible]
愛知	[illegible]	[illegible]	[illegible]
靜岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山梨	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滋賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岐阜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長野	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮城	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福島	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩手	[illegible]	[illegible]	[illegible]
青森	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山形	[illegible]	[illegible]	[illegible]
秋田	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福井	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
富山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鳥取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
島根	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岡山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
廣島	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山口	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和歌山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
德島	[illegible]	[illegible]	[illegible]
香川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
愛媛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高知	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大分	[illegible]	[illegible]	[illegible]
佐賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
熊本	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沖繩	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海外委員部	[illegible]	[illegible]	[illegible]
本部へ直納	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

備考
一、山梨支部は未決算にして鳥取支部は本表金額の外規準以內步合金七拾壹圓拾錢決算後納付に付四十一年度の收納とす

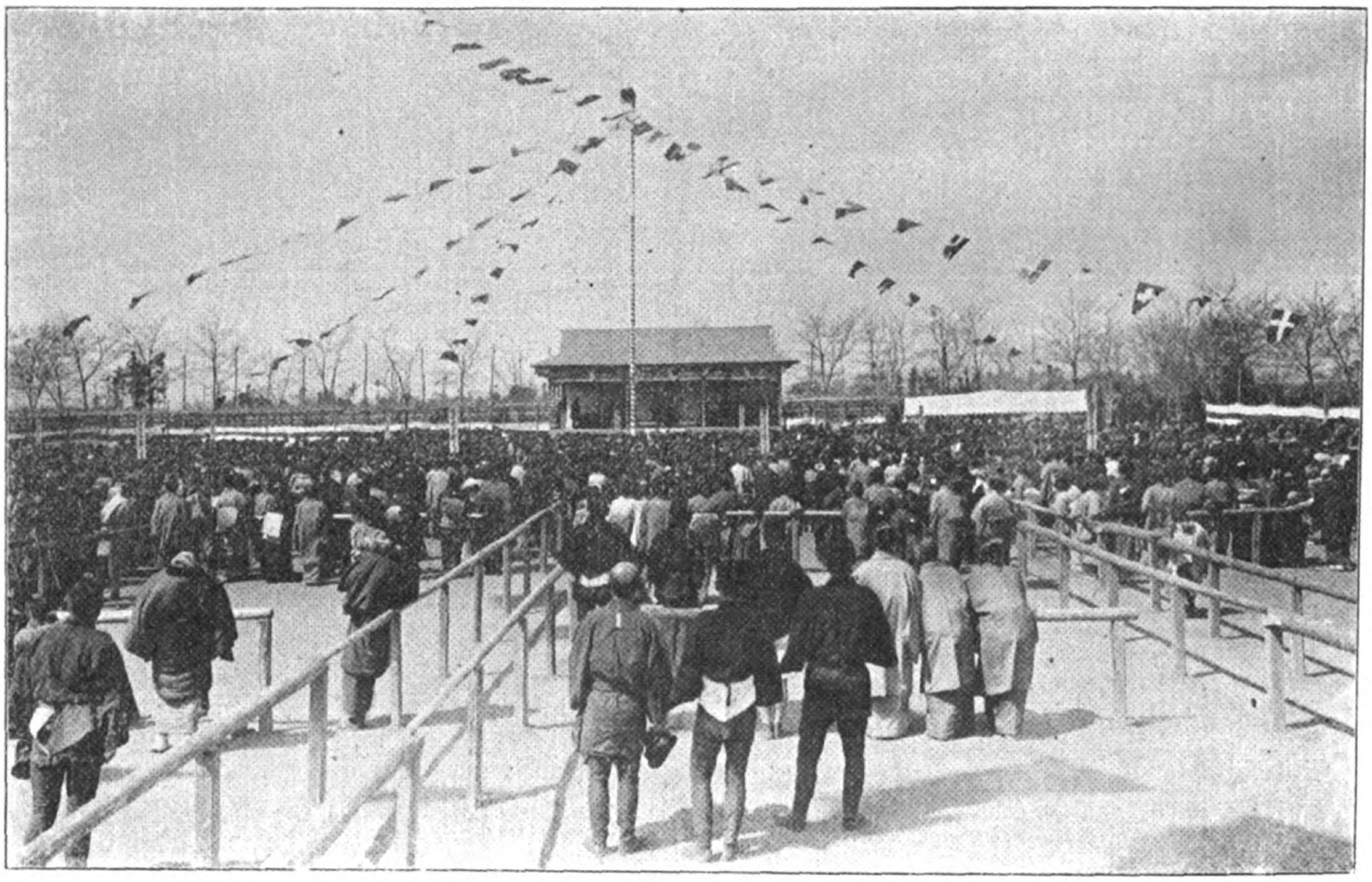
會場內數ヶ所に御便宜の爲めに賣店を設け置けり定價付御覽の上御隨意御求め可然なり若し店主不當の代價を貪るときは本會へ御申聞を乞ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人第百五十三號附錄

愛國婦人會群馬支部第二回總會式場

明治四十一年五月廿日(每月二回五日廿日)發行
明治三十五年三月二十七日第三種郵便物認可



發行兼印刷人山澤俊久 編輯人永持德一 發行所 愛國婦人會内愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN